

### 清 酒

財界不況、地酒の競争等因つて近年移入不振に陥り、本年も深刻なる不況の祟りを受けた上、賣行不良見越に依る生産減少の關係もあり、且つ需要方面は官吏減俸を動機とする直接間接の影響に加へ、朝鮮酒も内地酒も經濟的な糖蜜焼酎需要増加の打撃が少くなかつたとも言はれ移入一層不況を呈した、生産方面は不景氣の爲め極力安値相場に賣應したが、酒類の消費は經濟界の景氣變動を反映すること著しきもので就中清酒は其の反映が甚しく、一般の相場安も需要喚起に至らず、需要最も旺盛なる年末取引も期待外れの姿に了つたのは世相の現れであらう、相場は春來底意極めて弱く五月以來一齊値下げを餘儀無くされたが、移入清酒の大半は灘酒で産地の關係上大阪、神戸より積出され其他は主として岡山、廣島、北九州地方産のものであつた。

移入清酒仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (升)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大 阪	五五、三六	六〇、五二	四、九八八	五、〇三三
神 戶	八九、二五〇	九七、〇七四	七、八二四	八、八二五
其 他	一四、三四〇	一六、〇八七	一、七四七	一、九九九
計	一五八、九三六	一七三、六八五	一四、五五九	一五、一三三
			増 減 (△)	増 減 (△)
			△	△

清酒平均相場月別一覽表

商標	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
白 鶴	一樽	四	四	四	四	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	七〇、〇〇
金 露	一樽	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇	五八、五〇
櫻 正 宗	同	六四、五〇	六四、五〇	六四、五〇	六四、五〇	六二、〇〇	六二、〇〇	六二、〇〇	六二、〇〇	六二、〇〇	六二、〇〇	六二、〇〇	六二、〇〇	六二、〇〇	六二、〇〇
菊 正 宗	同	六二、五〇	六二、五〇	六二、五〇	六二、五〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇	六〇、〇〇
同	一箱	四〇、〇〇	四〇、〇〇	四〇、〇〇	四〇、〇〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇
	一打	四〇、〇〇	四〇、〇〇	四〇、〇〇	四〇、〇〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇	三八、八〇
	平均													五八、五〇	七〇、〇〇
	前年													五七、三〇	六三、九三

### 麥 酒

内地麥酒界は昨年一月麥酒釀造、ユニオンの協定脱退に因つて脆くも同業會社の協定破れて以來、販賣戰は財界不況に伴ふ需要の減退と相俟つて一層の混亂を惹起し、殆ど收拾し難い迄に悪化の状態を呈すると共に、鮮内に於ても販賣戰は熾烈たらざるを得ない譯で廣告其他口金買戻等各品各様の方法を以て廉價競争を激化せしめ、當地に於ては札幌、朝日、キリン、サクラ、ユニオン等混戦を招き、相場も夏以來賣値の引下げを見た外、内部的に種々の商策が弄せられ、鮮内協定も名目の小賣値で、卸値段としては賣崩しの爲め建値以下にも取引されて居る様である、由來清酒の消費は景氣の好悪を鋭敏に感ずるが、麥酒の需要は鮮人の嗜好増進に因ること多かつた爲め景氣の如何に關係せず移入増加の傾向にありしも、前年來の不景氣には勝てず旁々本年は氣候不順と相俟つて入荷著しく減少を示した。

移入麥酒仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (升)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	三六〇,五三五	三六一,〇一〇	一〇〇,四九五	一四八,六〇五
神戸	三六二,一七六	三三五,七九三	九六,六二八	九六,一九一
東京	二,四八六	五,三三三	二,八二七	二,三〇一
下關	三三,五二六	六〇,九〇六	二七,三八〇	二五,〇五六
門司	一一,〇八三	八四,五六七	三六,五二六	三四,八六一
博多	四九,〇〇〇	六八,四五〇	一三八,四四九	二五二,三六四
其他	四,二四〇	三,一七一	一,〇六九	一,〇〇〇
計	一,一四〇,〇〇〇	一,一七九,三三〇	三三三,一八三	五三〇,六八八

麥酒平均相場月別一覽表

商標又ハ柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
麒麟	一箱	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇	一五,〇〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,八〇〇	一六,三〇〇
サッポロ	同	一五,八〇〇	一五,八〇〇	一五,〇〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,五〇〇	一四,八〇〇	一六,三〇〇
サクラ	同	一五,三〇〇	一五,三〇〇	一四,八〇〇	一四,八〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,〇〇〇	一四,三〇〇	一六,〇〇〇

焼酎

朝鮮在來酒に比し價格廉の爲め著しく鮮人嗜好に適する處から、農村は勿論都鄙を通じて中流以下の階級へ素晴らしき勢で歡迎されて來たのが焼酎であるが、鮮内生産増加と内地生産會社の鮮内進出とに因り内地産は漸減してダイヤ、◎の如き有力品も一兩年來全く朝鮮産に代る等、近來種類も少くなり、一時旺盛を呈せし本品の移入一向振はざることゝなつた、現在移入される内地品は寶龍、寶竹、福縁、糟取等を挙げ得るも、糖蜜を原料とする新式焼酎の激甚なる販賣競争に會し地盤は四分五裂の状態である、勿論朝鮮産も財界不況の爲め生産引締状態であるが、不況対策として平壤の大平、七星、仁川の朝日、馬山の昭和、當地の増永、大鮮工場等新式焼酎の販賣統制成り、市價の安定と相俟ちて弗々樺太方面へ移出される勢である爲め内地産の前途一段不況を見越されて居る、相場は内鮮産共不景氣關係から前年より五分乃至一割下落を示した。

移入焼酎仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (升)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	六八,六五七	一三,五三七	五九,八八〇	一九,三〇一
神戸	〇,四一七	七,七四一	三,三三三	三,三四六

第三 内地貿易 (貨物)

博多 其他 計	燒酎平均相場月別一覽表													
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
博多	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
其他	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961	1,961
計	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961	5,961

柑 橘 類

商標又ハ 柄 單位	燒酎平均相場月別一覽表													
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
寶龍十五度 (内地産) 一壺	7.10	7.10	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
ダイヤ同 (朝鮮産) 一壺	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50
金剛同 (朝鮮産) 一壺	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40
日光同 (朝鮮産) 一壺	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40
同 (朝鮮産)	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50

本品移入の増進は主要品蜜柑の増入に因るもので、別けて豊作と不況の爲め新年持越品が多かつた關係上、春期取引好勢を告げたが、本年の蜜柑作は概して不良で、熟期遅延に依る出廻遅れもあり入荷不振を示した、尤も内地は近年不況打開策として輸出方面に努力し、本年紀州、静岡を中心に組合組織に依り對支輸出統制進出を計つた様であるけれども、滿洲事變、日貨排

斥に會し豫想に反する打撃を蒙るに至り、相場は出遅れと共に産地安唱への爲め漸落状態に陥り、春期、冬期を通ずる蜜柑相場の場下落に依り價額はあがらなかつた、蜜柑に次ぐ夏橙は一般實入り悪く、移入品の主産地萩方面は例年の一割作にも及ばぬ有様で、相場は幾分引締を見せたが、本年は長崎縣其他よりの劣等品も多少取引を見たに過ぎない、次でネーブルは愛媛、山口、紀州方面から移入せられ、就中愛媛物は味も香も良く最も優勢であるが、紀州物は氣候の關係で少し劣ると言はれてゐる其ボ他ンカン、カンカン等は台灣より移入されたが、高値の爲め大衆的に不向で取引高も微々たるものであつた。

移入柑橘類仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	45,845	23,755	3,557	11,201
神戸	4,777	7,733	7,693	8,825
下關	4,477	2,949	3,410	8,155
門司	4,687	8,501	3,665	7,566
長崎	10,911	4,711	7,677	2,518
其他	7,037	8,322	4,677	6,828
計	87,474	51,172	30,307	49,032

第三 内地貿易 (貨物)

柑橘類平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年	
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
蜜柑 紀州中玉	四合箱	二、一〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
同 伊豫中玉	六貫匁	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇
同 山口中玉	六貫匁	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇
同 廣島中玉	同	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇	二、三〇
同 蜜柑 萩産上	籠十貫匁	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇
同 蜜柑 萩産上	籠十貫匁	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇	三、三〇
同 山口産上	六貫匁	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇
同 キンカン 同上	同	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇	二、〇〇
同 ホンカン 同上	同	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
臺灣産上	十貫匁	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇

乾明太魚

内地明太魚は産地北海道に於ける生産獎勵の結果、近年俄かに取引高を増加し、且つ當業者の努力に因り製法も漸次改良せられ品質の向上見るべきものがある、然るに本年は産地概して生産良好ならず、爲に鮮内移入も減少するものと豫想されたが、例年相當需要を見る元山方面は鮮産潤澤の影響で賣行振はず、又香港方面への輸出不振からの販路を極力南鮮方面に求むる状態となり、旁々北鮮物は高値の爲め當地入荷困難の事情も添加され當港移入數量増加を見たが、相場は減産に依る一時の騰勢も不況に基く物價下落の趨勢に押されて安値を辿り、前年に比し平均二割以上下値の爲め價額に減少の結果を招いた。

移入乾明太魚仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
	數量 (斤)	價額 (圓)	數量 (斤)	價額 (圓)	數量 (斤)	價額 (圓)	數量 (斤)	價額 (圓)
大 阪	三、三六〇	一、一四〇	一、一四〇	三、三六〇	三、三六〇	一、一四〇	三、三六〇	一、一四〇
神 戸	七三、六四〇	五、三六九	七三、六四〇	五、三六九	七三、六四〇	五、三六九	七三、六四〇	五、三六九
敦 賀	二〇〇	一、一四五〇	二〇〇	一、一四五〇	二〇〇	一、一四五〇	二〇〇	一、一四五〇
下 關	二六六、五八〇	六、六三三	二六六、五八〇	六、六三三	二六六、五八〇	六、六三三	二六六、五八〇	六、六三三
門 司	一〇〇	二八、六八五	一〇〇	二八、六八五	一〇〇	二八、六八五	一〇〇	二八、六八五
其 他	三、五〇一、〇五六	三、一六、一七九	三、五〇一、〇五六	三、一六、一七九	三、五〇一、〇五六	三、一六、一七九	三、五〇一、〇五六	三、一六、一七九
計	三、八八五、三三六	三、二二、〇〇一	三、八八五、三三六	三、二二、〇〇一	三、八八五、三三六	三、二二、〇〇一	三、八八五、三三六	三、二二、〇〇一

乾明太魚平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
二等品 内地産	千尾	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇

安全燐寸

内地燐寸界は年來瑞典製品の壓迫を蒙りし上、本年は日支事變の突發、英國金本位制停止等の打撃を受け、輸出停頓の状態を呈すると共に、鮮内取引に力を注がれ入荷増進したが、市價下落の爲め價額に減少を見た、市場は大同燐寸に對抗して社外製品の進出に因り販路争奪の状態で、競争激甚を加へ、春來の安値は八月以來更に下落を重ね爾來一層鈍重に推移し終始擡頭の見込みなく、而も農村の不況深刻なるに及びて活潑なる取引を見なかつたけれども、元來本品需要は年を追ひ増進の趨勢にあるのみならず、數次の値下りで從來京仁地方に比し割高觀にあつた南鮮市場人氣の上に相當反響を與へた様である、而て現在の移入品は大同燐寸の双鹿、羽鹿、楓鹿、松鹿等、又競争品として神鹿、双蝙蝠、菊鹿、旭鷹等主なるものであつた。

移入安全燐寸 (小箱入) 仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (百打)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大 阪	1118	1110	430	546
神 戶	87,656	81,577	338,694	368,604
其 他	101	110	362	538
計	87,866	81,797	399,686	469,611
				増減 (△)
				116

安全燐寸平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月別												平均	前年
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
羽 鹿	一箱	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057
鹿	一箱	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057	057

繰 綿

本品は主に當地朝紡會社の買付に依る原料印度棉及米國棉花で大阪及神戸仲繼に係り、數量に入増したが、米棉増收豫想と内地棉業界不振の打撃等に基く棉花相場の崩落に因り價額に減少を招いた、右原料棉の外、一般取引品として打綿原料等に使用せられるものも多少移入されたが僅か一部分に過ぎず、市況は財界不況と朝鮮棉花の値崩れから終始沈靜、相場も漸落状態であつたが、金輸再禁の影響を受け年末急轉擡頭したのは移出繰綿同様である。

移入繰綿仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (百斤)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大 阪	11,833	11,105	270,015	378,511
神 戶	106,973	89,366	2,510,188	2,121,333
門 司	2,356	2	100,000	100
其 他	173	1	2,775	0
計	113,332	100,474	2,882,998	3,269,954
				増減 (△)
				486,956

打綿

本品は主に蒲團綿、中入綿等であるが、米價安、不況等の影響を受け春來荷動渺々しからざるに、本年朝鮮棉花の凶作も豫想外なる相場安の爲め自家消費の増加を促したる結果本品賣行上に大打撃を與へ、特に蒲團綿の如き需要期に入るも期待外れの姿にて秋以降商況更に振はず、相場も綿同様に軟弱を示した、而して本品は廣島、已斐、博多、久留米地方よりの移人品大部分を占めた。

移入打綿仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (百斤)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	17,761	22,400	3,011	9,733
關東	1,011	4,600	1,345	23,977
博多	6,018	3,680	2,535	7,900
門司	9,010	3,640	1,951	5,853
其他	14,115	27,500	3,054	7,701
計				
			5,000,968	7,500,100
			△	△
			3,011	9,733
			△	△
			1,345	23,977
			△	△
			2,535	7,900
			△	△
			1,951	5,853
			△	△
			3,054	7,701
			△	△
			5,000,968	7,500,100
			△	△
			3,011	9,733
			△	△
			1,345	23,977
			△	△
			2,535	7,900
			△	△
			1,951	5,853
			△	△
			3,054	7,701
			△	△
			5,000,968	7,500,100
			△	△
			3,011	9,733
			△	△
			1,345	23,977
			△	△
			2,535	7,900
			△	△
			1,951	5,853
			△	△
			3,054	7,701
			△	△
			5,000,968	7,500,100
			△	△

打綿平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	位單	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
蒲團綿上	十貫	33,500	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
中入綿上	同	27,500	26,000	26,000	27,500	27,500	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	26,000	26,000	26,000	26,000

綿織絲

昨年暮以來操短強行に依つて立直りを見せた内地紡績界も、本年に入りて操短緩和に依る在荷増と日支事變以來輸出市場の不振等軟材續出し反落相場の出現に依り、當地も不況の折柄とて商狀不味を脱せず、而も本品を原料とする綿布、靴下、浴巾等賣行不良、消費減退に傾き、特に鮮人手織綿布の如き原系相場に比し製品値が却つて割高を呈することある爲め生産著しく減少して原系の移入不振を辿ると共に市價の下落に依る價額の減少も大きかつた、相場は米棉大豊作と不況を背景に、春の高値も夏以來低落に導き十月底値を出したが、政變以來、金輪再禁止に伴ふ内地の反撥に當地市場も年末急轉昂騰した。

移入綿織絲仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	2,866,810	3,213,399	1,085,499	1,345,955
			△	△
			2,866,810	3,213,399
			△	△
			1,085,499	1,345,955
			△	△
			2,866,810	3,213,399
			△	△
			1,085,499	1,345,955
			△	△
			2,866,810	3,213,399
			△	△

第三 内地貿易 (貨物)

計	神 戸		名 屋		下 關		長 崎		其 他	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
計	1,923,395	1,156,988	484,566	1,156,988	484,566	484,566	484,566	484,566	484,566	484,566
神 戸	1,923,395	1,156,988	484,566	1,156,988	484,566	484,566	484,566	484,566	484,566	484,566
名 屋	237,125	237,125	237,125	237,125	237,125	237,125	237,125	237,125	237,125	237,125
下 關	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
長 崎	385,101	385,101	385,101	385,101	385,101	385,101	385,101	385,101	385,101	385,101
其 他	1,026,710	1,026,710	1,026,710	1,026,710	1,026,710	1,026,710	1,026,710	1,026,710	1,026,710	1,026,710
計	1,923,395	1,156,988	484,566	1,156,988	484,566	484,566	484,566	484,566	484,566	484,566

一九四

綿織糸平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
單十六手桂月	廿一 圓	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
晒然四十二手雁	同	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000

毛 糸

本品需要は編物手藝流行の變遷に伴ひ時に消長を免れざりしも實用向需要は増進の趨勢を辿り本年も入荷増加を示した、右入荷品の内には外國産の内地で輸入手續済となつたものをも含んで居るが、外國産は内地産に漸次壓迫せられる傾向にある、併し品柄に於て未だ全然防止する譯に行かず英國産ビーハイプ等は尙ほ相當勢力がある、市場は相場安と不況が祟つて面白味を缺き、且つ流行變遷の迅速なる婦人首巻用等著しく不振の形勢なりしも、輕装で防寒に適する肌衣用方面を初め、体裁よりも

行動自由を第一とする子供服用等に至りては需要衰へず、賣行良好の様様であつた、相場は原毛の低落に伴れ一途漸落を告げ年末の引返しも殆んど問題にはならなかつた。

移入毛糸仕出地別數量價額二年比較表

仕 出 地	數 量 (斤)		價 額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大 阪	1,923,395	1,156,988	484,566	1,156,988
神 戸	237,125	237,125	237,125	237,125
名 古 屋	1,250	1,250	1,250	1,250
東 京	385,101	385,101	385,101	385,101
其 他	1,026,710	1,026,710	1,026,710	1,026,710
計	1,923,395	1,156,988	484,566	1,156,988

毛糸平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年平均
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年平均
スコッチ 獨乙産	一 圓	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155
ビーハイプ英國産	同	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335	2,335
日 本 毛 絲	同	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175

第三 内地貿易 (貨物)

一九五

生金巾、生シーチング及生細布

對外輸出市場の硬塞に依る内地棉業界不振の影響から當地市場も勿論活氣を呈するに至らず、當業者の先行案じ米價安に依る農村の不況と相俟ちて商狀見送りの姿を呈して極度に手控られ、特に下半年以來フーバー景氣の反動や、中華民國の排日、印度の關稅引上、英國の金本位制停止等惡材料の包圍を受けた人氣の軟化に伴ひ、問屋側は掛賣等極端に引締を餘儀なくされる一方、本年の如き漸落相場に會しては朝鮮物を取扱ふ方比較的危險少く確實とされ、朝紡製品等賣行良好の打撃もあつて各品移入減退を告げたが、金輸再禁を轉期として躍進相場に會ひ、思惑出現年末掉尾の活躍を見ると共に春來一本調子に下向ける當地相場も反騰に急騰を重ねた。

移入生金巾、生シーチング、生細布 種別數量價額二年比較表

種別	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
生金巾		共		共
生シーチング	二,〇〇〇,八一八	二,三五六,五三三	三三,五六五	三三,六九五
生細布	三,八五七,〇三五	四,一八九,〇一〇	三三一,九七五	三三二,〇八八
計	五,八五七,八五三	六,五四五,五九九	六七,七四六	六八,一三三
				一,〇〇,〇三三
				三九八,九三三

移入生金巾、生シーチング、生細布 仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	三,六四四,一四五	三,七五〇,三八〇	四三,三〇三	四三,九〇三
神戸	三六四,八八〇	四一,二二〇	四,〇一一	四,〇一一
名古屋	二六,八二〇	四三,三四〇	一〇,一九四	一〇,一九四
下關	三〇,四〇〇	九二,五二〇	二,二九五	二,二九五
門司	三三,六四〇	五四,四〇〇	三六,三八八	三六,三八八
博多	一,一六三,二二〇	二,一六三,二二〇	一三六,六四五	一三六,六四五
其他	二六四,八四八	二,〇七五,八三九	二九,五九五	二九,五九五
計	五,八七〇,八五三	六,五四五,五九九	六八,一三三	六八,一三三
				一,〇〇,〇三三
				三九八,九三三

生細布類平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月別												平均	前年
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
生細布鷹A十三封度	一反	六,四〇	六,四〇	六,四四	六,四四	六,四〇	六,四〇	六,四五	六,四〇	六,四〇	六,四〇	六,四〇	六,四〇	六,四〇	六,四〇
同 鷹十二封度	同	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五	五,〇五
同 世樂島十二封度	同	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇	五,〇〇
生シーチング△	同	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八	六,六八
同 文珠	同	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇	五,八〇
同 金剛山	同	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五	五,九五



晒金巾、晒シーチング及晒細布

本年は當地朝紡製品が大阪で晒加工の上再移入せられたものも相當數量に達するが、朝鮮産は未だ勢力薄く、而も時局が齟らせる中華民國商人取引中絶に伴ふ外國産入荷不振の反動で内地産移入を促し、具つ鮮人生活の向上に伴ひ加工綿布は次第に勢力増進の傾向にあると共に需要は生物より晒物に移る傾向にあつて、本年の如く不況に際會しても賣行は左程悪い方でなく、中華民國商人取引の中止は内地人側の販路開拓となつて時ならぬ好機を享受した向もある様である。右の外輸入高は前年八萬餘方碼、一萬餘圓を算したが本年皆無に近い減少である、外國産は内地産の壓迫を蒙り輸入業者たる中華民國商人も内地金巾取扱増加から益々不況を辿りつゝあるに、日支事變の突發以來上海方面との取引杜絶の結果入荷減退し、相場も内外産とも漸落状態であつたが年末の中間景氣に多少引返しを見たのは生物同様である。

移入晒金巾、晒シーチング、晒細布 種別數量價額二年比較表

種別	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
晒金巾	二、九三〇、三九六	二、七三九、九七七	一八〇、三七三	四四八、四九七
晒シーチング	四、九三三、五八一	二、六九一、九四六	二、三三二、六三五	六三三、九五八
晒細布	七、八三三、三三〇	五、四三三、三三三	一、四〇〇、一〇五、二	四三六、九三〇
計			一、五七七、四六三	一、三二八、〇六六

移入晒金巾、晒シーチング、晒細布 仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	七、八二五、一八〇	五、三九八、〇三七	一、四〇一、一〇二	一、〇〇三、八七〇
名古屋	五、一一五	九四二	一八	一九三
其他	八、二三五	三、九三三	一、三三六	一、三三三
計	七、八三三、三三〇	五、四三三、三三三	一、四〇一、一〇二	一、〇〇三、八七〇

輸入晒金巾及晒シーチング數量價額國別二年比較表

國別	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
英國	—	一〇、五二六	—	一八、〇六六
吉利	三九三	一〇三	七六	二二
其他	—	—	—	—
計	三九三	一〇、五二六	七六	一八、〇六六

晒金巾類平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
晒金巾 東方朔(内地産)	一反	七、三〇	七、三〇	七、一〇	七、四〇	七、二五	七、一五	七、〇〇	七、〇〇	六、八〇	六、三〇	六、三〇	六、六〇	六、九三	八、九七
同 改良女學院(内地産)	同	六、四〇	六、三〇	六、二五	六、四八	六、四〇	六、四〇	六、三三	六、三〇	六、〇五	五、六〇	五、六〇	五、九〇	六、一六	八、〇九
同 新賞仲秋(英國産)	同	八、八〇	八、三〇	八、三〇	八、二〇	八、一〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、二一	一〇、一〇
同 好勇團(英國産)	同	九、八〇	九、三〇	九、三〇	九、〇〇	八、八〇	八、七〇	八、七〇	八、七〇	八、七〇	八、七〇	八、七〇	八、七〇	九、〇六	一一、一一
晒細布 孝父圖	同	六、三〇	五、八〇	五、八〇	五、七三	五、六〇	五、六〇	五、八〇	五、九五	五、八五	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、七二	七、四四
同 山羊首	同	六、三〇	五、八〇	五、九〇	六、〇五	六、〇〇	六、〇〇	六、〇五	五、九五	五、八五	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、八三	七、五〇
同 太平鼓	同	四、九〇	五、一五	五、四〇	五、二五	五、一〇	五、一〇	五、二〇	五、一〇	四、八〇	四、四〇	四、四〇	四、五〇	四、九四	五、九九

ジーンズ

本品中には艶付と然らざるものとを含むが、入荷の割合は後者優勢である、鮮人間の嗜好に投じ曾て噴々たる好評を受けた本品も、近年縞子地の流行に伴れ全鮮的に不況を辿り、特に當地方は綿五枚縞子地の壓迫から昔日の靚なく、加ふるに最近人絹織物の急進的出現に因つて大打撃を蒙り、就中艶付は艶なしに比し影響大なるものゝ如くであつた、併し不況は安値物に引付け、別けて學童衣服用黒地物或は蒲團側等に用ひられる安値下級品にありては需要喚起の形勢を現はし、爲に入荷は増加したが、

相場は春來漸落状態にて年末一般綿布市場の好轉も影響なく前年に比し平均約一割方下値の爲め移入價額に減少を免れなかつた。

移入ジーンズ仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	一、五四三、七六三	一、三三二、七四六	三、四〇、〇七七	三、六〇、四三三
名古屋	七、七三六	七、七三六	一、〇〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇
其他	七、七三七	三、五二五	三、〇〇、〇〇〇	五、〇〇、〇〇〇
計	一、五四三、七六三	二、二〇〇、七二七	七、四〇、〇七七	九、六〇、四三三

艶付ジーンズ平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
三三 虎	一反	四、一〇	三、四三	四、一〇	四、四〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、三〇	四、六五
三三 ヤール	一反	四、一〇	三、四三	四、一〇	四、四〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、五〇	四、三〇	四、六五

綿 縞 子

縞子地の流行は都會地より村落へと漸次旺盛に向ひ、就中品柄著しく鮮人嗜好に投じジーンズに代つて加速度的に躍進を見た

のは綿五枚襦子で今尙ほ襦子地中最も優勢であるが、近來目醒ましく進展を示せる人絹織物の勢力増進に伴ひ打撃も次第に増大を加へ來り、且つ本年の如く不況深刻なるに及んでは市價下落も買氣を促進するに至らずして入荷不振を告げ、相場もジーンズ同様不勢を辿つた。

移入綿襦子仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	二、五四五、九六六	二、八七四、六三〇	五五九、四九六	〇七三、七六八
其他	一、九四六	三、八六一	六九五	一、〇〇五
計	二、五四七、九三三	三、八七、〇六一	五六〇、一五二	〇八四、六三三
				増減 (△)
				三、四七、七六三
				七二〇
				三、四八、四三三

綿襦子平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
無地五枚襦子	一反	五、七〇	六、一〇	六、一〇	六、一〇	五、八〇	五、八〇	五、九〇	五、九五	五、五五	五、〇〇	五、〇〇	五、三〇	五、四六	六、八三

毛織物

洋服の普及に伴ひ羅紗、セルヂス等洋服地の入荷好調を告げ、又斬新なる意匠と製品の向上に努むるモスリン等の入増に因り移入増進を示したが、市價下落の爲め入荷の割合に價額昂らず、モスリンの如きは價額に減少を見て居る、毛織物界も綿布同様本年製品安、原料低落で苦難多く、特にモスリンは人絹織物の打撃が一段加つた様であるが、近來洋服の大衆化に伴ひ内地に於ける洋服地の製造盛んとなり、且つ販賣に力を致せる結果、内地品の擡頭顯著にして、從來上海方面より取引を見て居た羅紗、其他英國産服地は、本年日支事變以來取引圓滿を欠ぐ等旁々入荷著しく減退の方であつた。

移入毛織物種別數量價額二年比較表

種別	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
毛製 羅紗及セルヂス	四一六、一五四	三七〇、六〇七	一四五、五四七	三三三、五三六
モスリン	六九九、一四九	五八三、七八三	一六、三三七	三、七、六九四
其他	一〇八、九三三	九八、五五七	一〇、三六五	三三、三三三
計	一、二二四、二三六	一、〇五二、九四七	一六二、二四九	三六六、八六三
				増減 (△)
				六三、七七三
				三九、五三三
				一四、三三三
				一八、八七三

移入毛織物仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
大阪	六九六、四七一	四一九、二七〇	△	三七七、二〇一	四六七、七五八	三五三、五二四	△	一一五、二四四
名古屋	六三、〇六五	七六、四三二	△	一三、四七七	五七、三三九	七八、三〇三	△	二〇、九七三
東京	八、五二一	一八、三三五	△	九、九七四	一三、九六〇	三五、六一八	△	二、六五八
其他	四五六、三三六	四三七、八〇九	△	一八、五三九	三四二、三七三	三九六、一〇八	△	五三、七三六
計	一、三四、三三五	九五一、九四六		二七、二七九	八八一、四一九	八六三、五四三		一八、八七七

輸入毛織物數量價額國別二年對照表

單位 (數量) 方碼  
價額 圓

種別	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
羅紗及毛製	二、四三八	四、九三三	五、六六	五五六	三、〇三三	五、四五六	七、四三三	一三、一四四
セルチス毛綿製	四四四	七四二	—	—	四四四	七四二	二、七四六	一、六九三
アルバカ、オルレア	一三、九〇九	九、四七六	三、五九一	—	一六、五〇〇	一、〇五四	一七、八七一	一三、七五〇
ونس及ラストル	六六六	四八四	八六六	—	一、五〇二	九三六	一、七八一	二、六四八
其他	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一、六、四四七	一、六、四四七	五、〇〇三	二、五五六	二二、四六九	一八、一八三	二九、五四四	三三、三三〇

毛織物平均相場月別一覽表

商標又柄	一月		二月		三月		四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月		十二月		平均	前年		
	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額	單位	價額		
毛製厚地	同	三、〇〇〇	同	三、五〇〇	同	三、五〇〇	同	三、五〇〇	同	三、〇〇〇	同	三、〇〇〇	同	三、〇〇〇	同	三、〇〇〇	同	二、八〇〇	同	二、八〇〇	同	二、八〇〇	同	二、八〇〇	同	三、〇〇〇	同	三、〇〇〇
紺サージ	同	三、〇〇〇	同	三、〇〇〇	同	三、〇〇〇	同	三、〇〇〇	同	二、九〇〇	同	二、九〇〇	同	二、九〇〇	同	二、九〇〇	同	二、八〇〇	同	二、八〇〇	同	二、八〇〇	同	二、八〇〇	同	二、九〇〇	同	三、〇〇〇
モスリン生地	同	四、〇〇〇	同	四、〇〇〇	同	四、〇〇〇	同	四、〇〇〇	同	三、七〇〇	同	三、七〇〇	同	三、七〇〇	同	三、七〇〇	同	三、六〇〇	同	三、六〇〇	同	三、六〇〇	同	三、六〇〇	同	三、七〇〇	同	三、七〇〇
同色物	同	四、〇〇〇	同	四、〇〇〇	同	四、〇〇〇	同	四、〇〇〇	同	三、七〇〇	同	三、七〇〇	同	三、七〇〇	同	三、七〇〇	同	三、六〇〇	同	三、六〇〇	同	三、六〇〇	同	三、六〇〇	同	三、七〇〇	同	三、七〇〇

絹織物

内地絹織物界は輸出の不勢と需要の不振から商情不味を辿り、近時流行中心の觀ある秩父銘仙を初め縮緬、甲斐絹、羽二重等續落相次ぐ状態にて、當地も買控られて高値物程不況の影響深刻であつたが、注目すべきは人絹織物で、本年亦増進の趨勢を改めなかつた、人絹物は外見華やがで手觸り良く、且つ市價安の爲め歓迎せられ純絹界は勿論綿布加工品に迄喰込み、需要益々増加の形勢にあるが一方、内地製織技術の發達に伴ひ模様織方等に新生面き開くと共に、鮮人嗜好も推移し紋様の如き漸く純支那式を脱して日本式に變化せるもの増加を見つゝある現状であるが、下半年以來中華民國時局の悪化、印度關稅増徴の脅威、其れに英貨暴落の影響を直接間接受けて内地市場滯貨の漸増に操短擴張も市況を好轉せしめ得ない状態となり、當地人氣

も實勢如何に關係なく市價を壓迫して相場は下落に下落を重ねた、併し金輸再禁に會し年末一齊昂騰を告げ、尙ほ爲替安、輸出好轉見越に昂進模様を呈した。

移入絹織物種別數量價額二年比較表

種別	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
繻子及緞子	七六、五〇八	五四、三〇三	三三、二〇五	八九、五〇七
羽二重	一八四、三九一	一五一、八四三	三二、四四八	一九〇、二二二
甲斐絹	五一、四九五	七九、二八八	二七、七九三	七三、六八四
縮緬	一五、九三三	九八、二三五	五八、六九七	三三、七〇六
富士絹	一三六、一九八	六〇、九九九	七七、〇〇九	三〇、九七三
銘仙	三五〇、一九二	一九九、九八八	五四、〇〇四	三〇、二七四
人造絹布	二、八二二、六六九	二、三四六、三七四	五九、二九五	八三、八四二
純絹、人造絹布	七三、八七一	三三六、八一四	四〇、〇五七	二二、九八〇
交織、人造絹布	三三五、四八三	三六一、四三五	二五、九三三	三二〇、五二五
其他	四、七四一、六三八	三、五七六、三六九	一、二二五、三六九	二、一〇〇、〇三三
計			二、二七二、八八三	二、一〇〇、〇三三

移入絹織物仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (方碼)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	一、二三八、四三三	七二八、四七六	五九、九四四	三二、八八二
神戸	八九、二七一	八、〇六九	一一、〇〇一	二〇、六五九
名古屋	一六、一一〇	三三、二一九	一六、一〇九	一一、三四四
東京	三三、八六五	六、六六二	一六、二〇三	九、一〇三
下關	三、九〇九	一一、三三八	七、四三九	二、五九九
其他	三、七七一、〇〇一	二、七九九、五〇〇	五七、一五八	一、八三六、六三三
計	四、七四一、六三八	三、五七六、三六九	一、二二五、三六九	二、一〇〇、〇三三

鮮人向絹織物平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月別												平均	前年
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
三八軸(練)	百匁	七、二	七、一	七、一	七、一	六、七	六、七	六、七	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、六四	九、七〇
摹本(練)	同	八、三六	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	七、六三	七、六三	七、六三	七、四一	七、四一	七、四一	七、四一	七、四一	七、六四	一〇、七三
紋繻子(法緞練)	同	八、三六	八、一一	八、二九	八、二九	七、七〇	七、七〇	七、七〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇	七、六四	一〇、五一

品名	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
熟素(生經)	七、六七	七、六九	七、八〇	七、八〇	七、八〇	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三	七、三三
老紡(練)	六、一五	六、一〇	六、〇五	六、〇五	六、〇五	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四	六、〇四
色甲斐組	七、四二	七、四一	七、四一	七、四一	七、四一	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八	七、一八
無地府紗又ハ純(生經)	七、六六	八、〇八	八、三三	八、三三	八、三三	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七	八、〇七
仁人絹布法般	一、六四	一、六三	一、六三	一、六三	一、六三	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五	一、五五
同 文華織	一、五九	一、五九	一、五九	一、五九	一、五九	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一	一、五一
同 熟素	一、五九	一、五九	一、五九	一、五九	一、五九	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八	一、四八
同 人絹純絹交織布	四、〇〇	四、〇〇	三、七五	三、七五	三、七五	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三	三、三三
同 熟素	二、八二	二、六四	二、八〇	二、八〇	二、八〇	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三	二、五三

漁網及漁網地

本品は當地並に統營に於て生産されるものもあつて沿岸地方は勿論下關地方にも移出を見る程であり、殊に本年は原料綿絲安に因る鮮内生産の増加から移入品は可なりの打撃を蒙り、且つ本品取引上最も密接の關係を有する鮮内漁業状況も魚價暴落の爲め漁家は悲鳴を揚げし有様なれば、需要も期待に副はず結局好結果を見るに至らなかつた、併し需要方面は漁撈關係上、應急處理等小口取引に於ては鮮産便利の場合もある、大量取引に於ては内地品が品揃良く、手薄な朝鮮産よりも移入有利とすることあるは勿論である、相場は不況と原絲安に一齊軟弱を辿つたが、需給關係に依つて變動激しく別けて短期間に需要の多い鯖や鰯の刺網向は原價を無視する突飛値段が生じ勝の様であつた。

移入漁網及漁網地仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
	數	價	數	價	數	價	數	價
大阪	三三、九四七	一、〇、〇九一	一、九、二八八	一、〇、〇九一	一、九、二八八	一、〇、〇九一	一、九、二八八	一、〇、〇九一
名古屋	一一、六三三	一〇、八二一	六、二八一	一〇、八二一	六、二八一	一〇、八二一	六、二八一	一〇、八二一
四日市	八、九六五	七、九七五	一一、三三五	七、九七五	一一、三三五	七、九七五	一一、三三五	七、九七五
下關	一一、五八八	九、四三三	二、二八五	九、四三三	二、二八五	九、四三三	二、二八五	九、四三三
門司	二、二二五	九、四三三	二、二二五	九、四三三	二、二二五	九、四三三	二、二二五	九、四三三
其他	二、五三、五六八	六、九九九	三、九、四九〇	六、九九九	三、九、四九〇	六、九九九	三、九、四九〇	六、九九九
計	五九、〇八八	一、〇、〇九一	一、〇、〇九一	一、〇、〇九一	一、〇、〇九一	一、〇、〇九一	一、〇、〇九一	一、〇、〇九一

綿漁網平均相場月別一覽表

商標又ハ柄	單位	昭和六年												平均	前年	
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
九本六節	百尋	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇	一、三、三〇
十五本四節	同	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇	一、九、七〇
十五本六節	同	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇	二、一、三〇
十八本六節	同	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇	二、五、五〇

品名	数量	昭和六年	昭和五年	増減 (△)
三十一本七節 百尋	三〇、八〇	三、五〇〇	三、七〇〇	二〇〇
二十四本七節 同	三、一〇	三、三〇〇	三、九〇〇	六〇〇
計		六、八〇〇	七、六〇〇	八〇〇

和服

本品は内地人の居住増に連れ需要漸増の形勢にあるも、本年は不景氣節約に因るの外、値下り関係の影響もあつて移入高減退を告げた。

移入和服仕出地別價額二年比較表

仕出地	数量 (一)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	一五、三	一五、三	一、四六六	一、八〇六
神戸	一一、六	一一、六	一、一五三	一、一五三
名古屋	九、九	九、九	一、一〇〇	一、一〇〇
東京	三、四	三、四	三、四〇七	三、四〇七
東關	一、四	一、四	一、四三三	一、四三三
下關	三、〇	三、〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
其他	三、〇	三、〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
計	三三、〇	三三、〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇

洋服

洋服の着用は近年急激に増加しつゝあり、大量生産に依る内地既製服は割安な爲め需要増進の傾向にあるが、不況の影響別けて値下り関係から移入高前年に及ばなかつた。

移入洋服仕出地別價額二年比較表

仕出地	数量 (一)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	一、四	一、四	一、四六六	一、八〇六
神戸	一、五	一、五	一、五三三	一、六五〇
名古屋	七、〇	七、〇	七、〇三九	六、二七三
横濱	三、六	三、六	三、六五八	六、三三五
東京	二、三	二、三	二、三九五	二、九一六
東關	九、五	九、五	九、五〇〇	六、七〇八
下關	五、一	五、一	五、一七九	四、六四五
其他	二、四	二、四	二、四〇〇	二、六五三
計	三三、〇	三三、〇	三三、〇〇〇	三三、〇〇〇

護 謨 靴

本品は鮮人下級生活者の必需品化しつゝありて需要漸増の趨勢にあるが、米價の暴落は之が趨勢に一頓挫を與へ、而も鮮内生産は増大し内地物入荷の餘地を尠からしめたので、本年の移入高は激減を告ぐるに至つた、相場は原料護謨が底抜的に崩落したし、生産過剰に伴ふ販賣競争も烈しく、爲に前年の落潮を更に深めた。

移入護謨靴仕出地別價額二年比較表

仕出地	數		價	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大 阪			八八、六七七	一〇〇、三六一
神 戶			四〇八、一三八	一、〇七六、三三九
博 多			八四、八四四	四三八、九三三
其 他			二五六、七三四	一六二、五九五
計			八八、三三三	一、七九八、〇七七
				△
				九四、一三九
				五五九、七〇四

護謨靴平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	月												平均	前年
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
鮮型男物特	十足	五、五〇	五、五〇	五、四〇	五、二五	五、〇〇	五、〇〇	四、五〇	四、五〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、五〇	六、一〇
鮮型女物特	同	四、五〇	四、五〇	四、二五	四、二五	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇	四、〇〇	五、〇〇

地 下 足 袋

本品は品質の改善に伴ふ耐久力の向上、大量生産に基く値段の格安等から需要増進の傾向にあり、本年も可なりの賣行を示したが、滿鮮陸境經由品に對する三分一減稅特典が昨年廢止された結果、旁々銀安に基く滿洲引合薄もあつて當地仲繼の滿洲仕向品を激減せしめたので移入高減退に了つた、而して移入品中主なるものは久留米産の朝日を筆頭に、同地産の「つちや」、岡山産の千里等で、相場は不況に加ふるに、滿洲輸出不振に基く内地の不冴を受けて各品漸落したが、朝日、「つちや」は略同格で、千里は三四十錢見當下値を唱へられて居た。

移入地下足袋仕出地別價額二年比較表

仕出地	數		價	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大 阪			二、三三三	三、〇二二
神 戶			一、七〇八	二、〇七二
博 多			五、四七三	六、〇三三
其 他			三、八七六	四、五八〇
計			一、〇五〇、〇〇〇	一、三、〇〇〇、〇〇〇
				△
				二、二八、一〇〇
				二、〇〇、〇〇〇



地下足袋平均相場月別一覽表

商標又ハ 品柄	單位	昭和六年												平均	前年	
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
久留米産	十足	七、一〇	七、一〇	七、一〇	七、一〇	六、八〇	六、八〇	六、三〇	六、三〇	六、二〇	六、二〇	六、二〇	六、二〇	六、二〇	六、六〇	八、一〇

洋紙

舊嫌實現した共同管理に好感し、旁々當地前年買控へられ市場在荷薄なりし爲め當業者買進みよく入荷増進を告げたが、賣行は前年同様良好と言へず、而かも下半期は英國金本位停止、日支衝突等新素材の續發に因り内地市場又々亂賣混亂に陥つたので、當地相場も低調を辿り前年に比し一割内外の下落を示した。

移入洋紙仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
	數量 (斤)	價額 (圓)	數量 (斤)	價額 (圓)	數量 (斤)	價額 (圓)	數量 (斤)	價額 (圓)
大 阪	三、九四九、九四四	九七六、四九五	二、九三三、四五二	七三五、八七七	三、九四九、九四四	九七六、四九五	二、九三三、四五二	七三五、八七七
神 戸	三、三二一、四二一	一三三、七三七	三、八九一、八六八	三三、四一五	三、三二一、四二一	一三三、七三七	三、八九一、八六八	三三、四一五
東 京	一、七三三、二八八	八三、三四五	一、七三三、二八八	八三、三四五	一、七三三、二八八	八三、三四五	一、七三三、二八八	八三、三四五
其 他	五八三、七六六	一三、六七三	五八三、七六六	一三、六七三	五八三、七六六	一三、六七三	五八三、七六六	一三、六七三
計	四、九五八、一三九	九三五、七八四	四、〇三三、三五五	八四、二三四	四、九五八、一三九	九三五、七八四	四、〇三三、三五五	八四、二三四

洋紙平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	昭和六年												平均	前年
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
神戸洋紙 十八封度	一百枚	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五	一、一五
新聞洋紙 四十封度	五百連	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇
模造紙 百五十封度	同	一九、五〇	一九、五〇	一九、五〇	二二、〇〇	一九、五〇	一八、七五	一八、七五	一八、七五	一八、〇〇	一六、七五	一六、五〇	一六、五〇	一八、〇〇	一九、八八

和紙

本品移入減少の事情に關しては、根本に於て洋紙類需要増加の打撃があるのみならず、近來の洋紙界は生産過剰に悩む有様で壓迫益々激烈を加へ來り、而も本年は不況深刻な爲め鮮人間需要減少の結果極めて不透明の商情を現はし、市價の下落に伴ふ間屋筋の先行不況見越さ相俟つて入荷減退した、而して相場は限産に依り硬張を圖られたが一時的効果に終り依然軟調にあつた。

移入和紙仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
	數量 (斤)	價額 (圓)	數量 (斤)	價額 (圓)	數量 (斤)	價額 (圓)	數量 (斤)	價額 (圓)
大 阪	二、六四、三五三	六三、〇〇九	二、〇〇、三四四	九三、六四六	二、六四、三五三	六三、〇〇九	二、〇〇、三四四	九三、六四六
神 戸	二、四〇、〇四四	九、六〇八	一、四四、四六六	八、六五三	二、四〇、〇四四	九、六〇八	一、四四、四六六	八、六五三
東 京	一、五五、五五四	七、三五五	八、一九九	七、四三〇	一、五五、五五四	七、三五五	八、一九九	七、四三〇

第三 内地貿易 (貨物)

計	其	博	門	下	平均相場月別一覽表												
					一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
計	其	博	門	下	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇
					一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇	一、一八〇、〇一〇
計	其	博	門	下	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇
					七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇	七、六五〇
計	其	博	門	下	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四
					一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四	一、四九、九一四

半紙及美濃紙平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	平均相場月別一覽表													
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
半紙手漉上	一締	三、七五	三、九〇	四、二〇	四、七〇	四、三〇	四、二〇	四、〇〇	四、〇〇	三、八五	三、七〇	三、五〇	三、九五	四、〇三	四、二七
同 機械漉上	同	二、三〇	二、四五	二、七〇	三、〇〇	二、七〇	二、七〇	二、五五	二、五五	二、四〇	二、三〇	二、一〇	二、五〇	二、五六	二、五五
同 美濃紙手漉上	同	八、五〇	八、六〇	九、五〇	一〇、〇〇	九、五〇	九、五〇	九、三〇	九、三〇	九、一〇	八、九〇	八、八〇	九、三〇	九、二八	九、四八
同 機械漉上	同	三、〇五	三、二〇	三、五〇	三、八〇	三、五〇	三、五〇	三、三五	三、三五	三、一五	三、〇〇	二、九〇	三、三〇	三、三三	三、三九

セメント

近年過剰ストックに苦惱し続けて来た内地セメント界も、本年は高率減産と販賣統制の成功に因り稍安定を示し、當地も地場は府營下水道工事を首め住宅建築方面に、地方仕向としても統營地下道洛東江橋梁等多少纏つた取引を見、荷動可なり良好の方であつたが、鮮産小野田の南下進出に押されて内地物の入荷は前年よりも減退を告げた、相場は前記販賣協調の羈束もあつ

たし、表面は勿論實際取引に於ても大体堅調な推移を示した様であつた。

移入セメント仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (百斤)	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
大 阪		三六、〇九二	四、六一〇	三六、六三三	四、六一〇	三六、〇九二	四、六一〇	三六、六三三	四、六一〇
下 關		五、六八八	六六、九三二	五、七六五	六六、九三二	五、六八八	六六、九三二	五、七六五	六六、九三二
門 司		七八、三三七	一〇三、一三三	八〇、六二六	一〇三、一三三	七八、三三七	一〇三、一三三	八〇、六二六	一〇三、一三三
其 他		一、五七二	二六、七四八	一、四六六	二六、七四八	一、五七二	二六、七四八	一、四六六	二六、七四八
計		一〇四、一四二	一、四九、九一四	一〇四、一四二	一、四九、九一四	一〇四、一四二	一、四九、九一四	一〇四、一四二	一、四九、九一四

セメント平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	平均相場月別一覽表													
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
淺野大	一樽	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇
豊國大	同	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇
字部大	同	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	四、〇〇
小野田紙袋入 (朝鮮産)	一袋	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇

第三 内地貿易 (貨物)



(ハ) 板

本品は先年當地電鍍事業の休止から原板入荷不振に陥つて以來昔日の勢はないけれども、本年は建築方面需要の外、厚手物は農具、其他鐵製器具材料としての鍛冶工場方面、及塩釜、造船、自動車組立工場等に、又渡手物は煙突、ストーブ附屬品方面に荷動良く入荷好勢を告げた。

(ニ) 電 鍍 板

本品は浪板と平板とあるが、浪板は屋根板、壁板として主に建築方面に使用せられ、又平板は釣瓶、バケツト、洗面器等細工物方面に需要せられる外、近來は看板、廣告板用等にも需要増進の形勢にあり、浪板も住宅向建築小繁であり、旁々年末の思惑取引で入荷孰れも増進を示した。

(ホ) 線

本品の八九割迄は電鍍線であるが、電鍍線の需要は土工用蛇籠を始め、金網、針金細工、或は繩の代用、其他園用等用途の廣汎多岐となるに連れ太番、中番、細番線等各種需要を促し、本年も移入増加をつたが、就中八番乃至十番處の中番線入荷最も好況を呈した、相場は春來安定を缺き年末八番線五圓台割と言ふ新安値を示した。

(ヘ) 筒 及 管

本品入荷の増進は慶南各地橋梁工事方面需要増加の結果で、水道管、瓦斯管等前年の如く纏つた取引を見ず大なる進展を示さなかつた。

移入鐵類種別仕出地別數量價額二年對照表

單位 (數量) 價額 圓 斤

種別	昭和六年						昭和五年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
條及竿	四、四四、三五二	三三、一七二	九、九三、八七四	八、七七八	八、五九、四三三	四、四三、七〇三	六、一〇一、七〇三	四、三、六八〇
レール	八七八、六四〇	四九、八八三					六、三三三、八七四	三九六、二七五
板	一、一九、九四九	七八、四七七	一〇、一七三	五九五	四、一〇六	二、三三五	二、二八〇、二五一	九二、一三三
電鍍板	四、四七、八三四	五七、九四四	一〇、三六	一、〇五〇	八六〇	一一七	一、四九〇、二九六	六〇、五六〇
線	一、七、七八〇	一五〇、八七三	二、七二	九八	二、八二三	九七五	一、〇三、七四九	一、七、三〇〇
筒及管	一、〇〇、一〇〇	一五一、九七九	五三、三〇九	四、九六三	四、一六六	五五八	一、七八二、三三〇	一、七、三〇〇
其他	八四一、三八五	九三、五四八	二、四二二	二、〇五七	一、四、三六四	一、五二	一、四、三六四	一、〇、三〇〇
計	二四、四八、〇六三	三、四、三六二	八八、八、三三九	四、一、〇一〇	一、〇、六〇七	三、九、九四四	一、八、〇〇、三〇〇	二、〇、九、八七九

鐵類平均相場月別一覽表

商標又ハ品柄	單位	昭和六年												平均	前年	
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
丸鐵五分	十貫	二、六〇	二、六〇	二、七〇	二、七五	二、七五	二、六五	二、六五	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇	二、六〇
浪形三十番	百枚	五九、〇〇	五八、〇〇	五九、〇〇	六五、〇〇	六三、〇〇	五九、〇〇	五八、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇
平形三十番	同	六〇、七〇	六〇、〇〇	六〇、七〇	六六、〇〇	六三、〇〇	六〇、〇〇	五九、〇〇	五八、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇	五七、〇〇
鐵板	同	七〇、七〇	七〇、〇〇	七〇、七〇	七六、〇〇	七三、〇〇	七〇、〇〇	六九、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇

第三 内地貿易 (貨物)

亞鉛鍍針金 八番 一箱	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、八五	五、六〇	五、三五	五、三〇	五、二五	五、〇五	四、八〇	四、九〇	五、三〇	六、三三
鍍力板 百七十封度 (二三四枚)	一箱	三〇、〇〇	一九、五〇	一九、〇〇	一九、三五	一八、九〇	一八、五〇	一八、五〇	一七、五〇	一六、八〇	一六、九〇	一八、四七	二一、七六

銅

主に鮮器の製造原料に潰される銅塊及錠は格安な砲金に需要を阻まれ、銅板は従來相當需要を見つゝありし造船所方面の無活氣から不振を招き、又銅線は當地電氣會社を始め、大邱、羅南等地方電氣會社との取引稍見るべきものありたるも前年の好勢に及ばず、爲に移入減退を示した、相場は米銅暴落の影響と需要不振に因る内地の不勢を受けて昨春來慘憺下落を續けたが、年末は國際銅限産協定成立の報を入れて強氣の處、更に金輪再禁をも見たので稍反撥した。

移入銅種別仕出地別數量價額二年對照表

單位 數量 價額 圓斤

種別	昭和		和		六		年		計		昭和五年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
塊及錠	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
線	一〇六、四一五	四九、六〇三	七四、五九八	三九、二〇〇	一八、六八〇	一〇、一六六	七〇、五四五	三七、一八二	二七〇、二三八	一三六、一五〇	三六、六八六	一九四、九九二
其他	七五、三五三	三三、三三三	五〇	二〇	二、七九一	一、五二二	一、一八五	六、一四六	八八、三九	四三、〇〇〇	一〇、六七三	六、〇〇八
計	一七九、七六八	八二、九三六	七四、六八八	三九、三〇〇	二〇、四七二	一一、六八七	八三、七三〇	四三、三二七	三五八、六二七	一七九、一五〇	五二、三四四	二七四、〇三八

銅平均相場月別一覽表

商標又 品柄	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前年
電氣銅	百斤	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	〇〇、四〇〇	三六、三三	四三、九三
銅線十六番	一貫	二、八〇	二、八〇	二、七〇	二、六五	二、六五	二、六五	二、六五	二、五〇	二、四五	二、四〇	二、三〇	二、二〇	二、五九	三、四〇

洋鐵釘

金利安と諸建築材料安から遊資を住宅方面に投する者多く、近年當地に於ける小建築稍小繁を呈し本品の需要亦増進を示しつつあるが、相場は内外需要減に因る内地の不勢と原料ワイヤロットの浮動に兎角軟調に墮ち、平均前年より一割以上の下落を示した、而して本品は安田製釘工場製品最も勢力あつて大部分は八幡工場より移入せられるが、外國産は製釘工業の發展に因る内地産の壓迫を受けて現今全く入荷を見ない。

移入洋鐵釘仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	六五四、二六〇	五七、八〇〇	四六、八七四	四三、六二一
下關	九二四、六三三	八八、六三〇	六七、三〇〇	六、八三三
増減 (△)				
増減 (△)				

第三 内地貿易 (貨物)

洋鐵釘平均相場月別一覽表

商標 柄又 單位	洋鐵釘平均相場月別一覽表													
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前平均
二時半 百斤	六、八〇	六、八〇	六、八五	六、八〇	七、〇〇	六、三〇	六、五五	六、七〇	六、四〇	六、三〇	六、〇〇	六、三〇	六、五五	七、三五
八品標 柄又 單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前平均
計	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

絶縁電線

鮮内電氣事業の發展に伴ひ逐年需要喚起の趨勢にあり、當地に於ても昨年は送電能力の擴張に依り電氣會社方面相當大口取引を見たけれ共、本年は此方面需要一服と不況關係から朝紡其他一般工場筋の活氣薄に加ふるに鑛山方面の需要も擡頭に至らず旁々本品は阪神、京濱、尼ヶ崎、北九州地方に多く生産せられるが、中華民國輸出の停頓に依る内地市場の不勢を受けて商狀平凡を辿り、金輪再禁に伴ふ原料相場の値上りによる年末の好轉も、市場適品薄の爲め取引活氣を欠いた。

移入絶縁電線仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大阪	1,344,650	3,577,750	2,102,100	6,066,570
大	1,344,650	3,577,750	2,102,100	6,066,570

仕出地	數量 (斤)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
横濱	17,294	26,333	9,049	8,428
東京	143,697	254,032	110,335	64,075
門司	24,807	183,655	58,848	67,744
博多	18,450	25,458	7,007	10,055
其他	2,777	21,746	1,111	15,610
計	246,075	736,759	326,000	337,620

絶縁電線平均相場月別一覽表

商標 柄又 單位	絶縁電線平均相場月別一覽表													
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	前平均
四種 並十四番 十尺	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,300	11,300	11,500	11,500	11,290	11,850
二種 並十四番 十尺	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	9,000	9,000	9,500	9,500	8,750	8,250
九打 コード	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
二ヶ コード	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000

自動車及同部分品

本品の需要は近時急激な増加振を示してゐたが、本年は不況の折柄として自動車輸送業等も概ね業績舉からざる爲め自然新車の購入手控えられ勝にて移入不振を招來するに至つた、併し鮮内に於ける自動車使用の飽和状態になる迄には尙ほ多大の餘地が

あり、産業の發展、生活の向上に伴れ、將來益々需要の増加を見るであらうことは明瞭である、而して現在入荷品は主に外國産で就中大量生産に因る米國産壓倒的であるが、取引關係上殆ど内地稅濟品を移入せられる。

移入自動車及仕出地別價額二年比較表

仕出地	數		價額	
	量（ト）		額（圓）	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大 阪			六六六、三三三	八四一、一三九
神 戸			八〇〇、三六一	九六〇、五四八
横 濱			三〇三、一三六	九六、三六三
東 京			二四四、二二四	九六、八八七
其 他			五〇、二〇九	三〇、六〇六
計			二、〇七〇、一八九	二、三三九、二六八
				△
				△
				△
				△
				△
				△
				△
				△

### 自轉車及同部分品

本品は都鄙を通じて普及驚異に値すれども、本年は農村經濟の逼迫に新規注文手控へられ、特に當港を經由する京城仕向品の減少著しく、加ふるに一般物價安に伴ふ市價の値下りと、大量生産方法の發達に因る價格の低下とは、相重つて移入價額を一

層減縮せしめた、當地市場は近來改良廉價品の出現と不況に因る市價の引下から販賣競争激甚を加へ、種類は殆ど數ふるに違ないが、名古屋の岡本製、東京の宮田製、神戸の日英製、大阪の日米製品等相當信用ある方である。

移入自轉車及仕出地別價額二年比較表

仕出地	數		價額	
	量（ト）		額（圓）	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大 阪			三二六、三六六	四九〇、〇五六
神 戸			一四九、一九五	三三、六五三
名 古 屋			三三、六五一	三三、五七五
横 濱			一一、〇四六	三、四五〇
東 京			七八、三五六	一、三二二
其 他			三六、四九九	二、九七七
計			一、九、〇〇三	一、五、九七〇
				△
				△
				△
				△
				△
				△
				△
				△
				△

### 硫安肥料

鮮農の施肥に對する自覺別けて化學肥料に對する理解は本品の需要を年次急増せしめ來つたが、本年は穀價暴落の影響を受け此の趨勢頓挫し、又前年行悩みの状態にあつた内外硫安協定の成立は英獨安の賣止めを伴ひ、朝鹽生産の増大と相俟つて入

第三 内地貿易 (貨物)

荷の激減を招來した、相場は内外安の間格別の開きなく、前記協定の成立に依り上半期は著るしく硬化したが、七月國際空素カルテルの決裂を動機として内地が又々混亂の巷と化したから、以降逐月暴落し未曾有の安値を示現した、尙ほ本年外安の入荷は、前年皆無なりし直輸入に獨逸物四百二十四萬餘斤十九萬餘圓を算し、外に内地よりの移入、獨逸物二十五萬餘斤、和蘭物三萬餘斤あつたが、從來相當賣込んで居た英安は全く影を見せなかつた。

移入硫安肥料仕出地別數量價額二年比較表

仕出地	數量 (百斤)		價額 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大 阪	四九	△	三、二八〇	△
神 戸	一三、〇五	△	七、〇五	△
下 關	一、八四三	△	三〇六、七七一	△
門 司	一、八四三	△	三五、七九六	△
其 他	九〇、三七	△	一、二五二、八三六	△
計	一〇四、六八	△	一、七七八、一三四	△

硫安肥料平均相場月別一覽表

商標又 ハ品柄	單位	月												平均	前年
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
約内地産	十貫匁	二、九〇	三、七七	三、〇五	三、三五	三、四五	三、三五	三、八五	二、〇	三、五七	二、五	三、三八	二、八〇	三、九〇	三、四九

第四、金銀地金貿易

本年中當港に於ける金地金の移出は三千九百三十七萬餘圓、移入は三萬餘圓、合計三千九百四十一萬餘圓で、前年に比し移出一千二百七十一萬餘圓、移入七千餘圓、合計一千二百七十二萬餘圓の各増進を告げ、又銀地金は移出四萬一千餘圓、移入一萬五千餘圓、合計五萬七千餘圓で、前年に比し移出三萬八千餘圓の増加、移入一萬一千餘圓の減少、結局合計二萬七千餘圓の増進を示した。

移出入金銀地金價額種別二年比較表 (圓)

種 別	移 出		移 入		計	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
金 地 金	元、三七、七〇四	三六、六九、九三	三三、三七一	二五、八〇三	三九、四一〇、七五	二六、六八、七一一
銀 地 金	四、七、七三三	三、八、四〇〇	一五、八四七	二七、六四四	五七、六三〇	三〇、四八四
計	元、四、八、四三七	四〇、五、一三三	四九、二一八	五三、四四七	九七、〇四〇、五〇	五七、一七、一九五

備考 輸出入皆無なり、以下同じ。

金解禁以來、産金は國を擧げて大なる注意を惹き、三井、三菱、久原、住友等内地大資本家の腰入と共に、鮮内鑛業界も金山

第四 金銀地金貿易



熱を煽つて前途益々好望せられ、現に本年の出願件数に見ても金、砂金礦は二百八十餘件、金銀礦は一千七百七十餘件の多きに及び、稼行鑛山の増加と一般鑛業家は本格的に仕事を進めた關係上、産金一千萬圓を傳へられた程であつたが、銀は海外供給の過剩に原因せる價格未曾有の暴落から鮮内有數の銀山に於てなほ休山の噂もあつて、産銀は大なる増加を見なかつた共、九月以來は滿洲事變の突發、英國金本位制停止等の影響を受けて一般銀需要の誘發に依り銀鑛界亦機運回復の徴候を示すに至つた。

鮮内金銀産額表

年 別	金 地 金		砂		金		銀 地 金	
	數量 (匁)	價 額 (圓)	數量 (匁)	價 額 (圓)	數量 (匁)	價 額 (圓)	數量 (匁)	價 額 (圓)
昭和五年	一、五六七、〇三四	六、三〇七、六四四	八三、六八六	四二、〇三三	五七〇、三六四	五八、二〇七		
同 四 年	一、四七五、一九八	五、八四八、七三〇	五、五三七	二五、九三八	四五三、九〇八	五九、八二〇		
同 三 年	一、三四九、四八八	五、五三三、二一九	三〇、六一五	一五九、〇六七	四六五、一七四	五九、六四五		
同 二 年	一、四三四、四五五	五、七二五、四七七	八〇、二四六	四〇八、四七四	四三六、七七	五四、二八八		
同 元 年	一、八二七、二〇三	七、四八五、八一	八、八〇六	四一八、八四五	四一八、九二九	六五、四三三		

次に金銀地金の移出入状況を見るに、叙上の如く朝鮮産金の増加と内地市場金移動の増進、並に中華民國よりの流入増加に伴ひ移出増加を呈したのが最も注目せられる、中華民國より流入増加の事情に就ては、同國の金輸出禁止以來、金本位國に對す

る金市價の開きを利用せしむるに至つたことが大なる原因を爲した様である、尙ほ金移入の増加は輸出再禁の見越に基くものと想像されるし、銀地金の移出増加は年末の銀地反騰が機を與へた爲めと思はれる。

金銀地金移出入價額十年對照表 (圓)

年 次	移 出	移 入	計	移 出 超 過
昭和六年	三九、四一八、四八七	四九、二一八	三九、四一七、七〇五	三九、三九六、二六九
同 五 年	二六、六六二、七五三	五三、四四七	二六、七二六、一九九	二六、六九三、三〇五
同 四 年	五、八六三、六九五	五九、四五〇	五、九二二、一四五	五、八〇三、二四五
同 三 年	三、四〇八、二九六	四〇八、〇八〇	三、八一六、三七六	三、〇〇〇、二一六
同 二 年	四、六九八、三三四	二七〇、九五〇	四、九六九、一八四	四、四二七、二四四
同 元 年	五、八五六、九六一	一五五、四四四	六、〇一二、四〇五	五、七〇一、五七七
大正十四年	三、六六五、九六三	二七〇、三六六	三、九三六、三三九	三、三九五、五九七
同 十三年	四、三二一、三三九	一、一六〇、九五〇	五、三八二、二七九	三、〇〇〇、三七九
同 十二年	五、二四六、一〇四	一、五八、五九五	五、四〇四、六九九	五、〇八七、五〇九
同 十一年	二、四二九、六三五	五二、五六三	二、四八二、二〇七	二、三七八、〇四三

次に本年中金銀貨幣の出入状況を見るに、金貨は前年移入に一百圓を算したが本年は移出入共皆無であり、又銀貨は移出十萬七千餘圓を算したのみであつたから、前年に比し移出三萬一千餘圓、移入五百圓、合計三萬一千餘圓の各減少であつた、其他

銅貨及紙幣の移出入左の通り。

移出入金銀貨幣價額種別二年比較表 (四)

種別	移		入		計	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
金貨						
銀貨	107,803	136,357	100	500	107,000	107,000
計	107,803	136,357	100	500	107,000	107,000
		増減(△)		増減(△)		増減(△)
		28,554		100		100

移出入銅貨及紙幣價額二年比較表 (四)

種別	移		入		計	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
本邦銅貨及白銅貨	15,738	33,305	3,900	1,000	19,638	35,305
朝鮮銀行券	15,413	5,110	35	35	15,448	5,145
日本銀行兌換券	3,141	27,435	3,235	3,863	3,066	3,668
計	34,292	65,853	7,170	4,898	42,354	44,118
		増減(△)		増減(△)		増減(△)
		31,615		1,000		5,577

第五、通過貿易

内地對滿洲の貿易貨物にして、鐵道に依り朝鮮を通過するもの、内には、外國貨物の儘之を爲すものと、内國貨物として經由するが爲め國境に於て輸出入手續を了するものとあるが、後者は釜山港に於て移出入貿易貨物として統計せられるのである、而して本年右の外國貨物として通過せるものは、内地仕向十八萬餘圓、滿洲仕向三百八十六萬餘圓、合計四百四萬餘圓で、前年に比し前者八萬餘圓、後者一千九百七十一萬餘圓、合計一千九百八十八萬餘圓の各減少を示し、又内國貨物として通過せるものは、内地仕向七百十八萬餘圓、滿洲仕向一百六十八萬餘圓、合計八百八十七萬餘圓で、前年に比し前者五十五萬餘圓、後者二十萬餘圓、合計七十六萬餘圓の各減退であつた、内地仕向は量的には寧ろ増進を見得べきも、大宗たる柞蠶絲の崩落に基因し價額反つて減退を告げ、又滿洲仕向に於ても、前古未曾有の銀價の暴落に因りさらでも滿洲市場不況のところ、九月更に日支事變物發したので内地製品の引合愈々頓挫し、物價下落の影響に因る價額の減少と相俟つて叙上の激減を告ぐるに至つた、詳細左表の如し。

朝鮮通過貨物(陸路)價路二年比較表 (四)

區別	外國貨物		内國貨物		計	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
滿洲仕向	1,822,440	2,693,351	7,166,351	7,744,407	7,388,691	8,013,758
内地仕向	3,860,944	3,578,355	1,666,687	1,895,350	5,527,621	5,473,755
滿洲仕向	4,000,384	3,877,706	8,833,038	9,639,757	12,916,312	13,487,513
計	8,683,708	10,150,012	10,499,725	11,939,507	13,904,923	13,961,271
		増減(△)		増減(△)		増減(△)
		1,467,304		1,873,156		1,405,852

(A) 外國貨物

一、滿洲仕出內地仕向朝鮮通過貨物二年比較表

品名	數 (斤)		價 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
小豆	三,七三,八〇〇	一,三二七,一三三	一一,四九一	六三,六四七
柞蠶紡績絲	五,五三三	三三,三三〇	七,九四〇	四九,一三〇
綿織物	二,〇三六	八,〇〇三	一,九六三	八,三四六
其他ノ布帛及同製品	一,七三八	八,三八九	六,三七三	六,七〇七
衣類及同附屬品	二九二	三三五	一七九	八六五
金屬及製品	七七六	六,八八九	三三八	五,三二一
機械類	一,六五四	二,四八〇	一,八七〇	一,九〇五
其他ノ諸品計	一八五,三〇五	一〇七,〇八八	一五三,三九七	一三三,五五〇
計	四七,一三三	一,三六三,六六六	一八二,四〇〇	三六九,三三一

二、內地仕出滿洲仕向朝鮮通過貨物二年比較表

品名	數 (斤)		價 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
穀物及澱粉類	三,七三五,九七〇	九四六,三三二	二,七八九,七三九	六一,八一三
魚介類	五八,三九四	一一九,〇三三	六〇,六一九	一八,六八五
清酒	一三三,五三三	三七八,九一六	四三,四五四	一四四,三五八
其他ノ酒類	六五,八〇八	一三三,八九八	一一,二八六	二六,七四四
果實及核子	三九九,五六六	五二八,三四三	三三,六三九	三三,八一二
其他ノ飲食物	三三〇,八九七	一,三〇三,〇五〇	二五,四九八	一六三,六三三
石鹼	四八,五九四	三五九,〇八三	一〇,二八八	七三,二二二
諸藥材及爆發藥	一一八,七三九	二二〇,八九〇	一六,六五七	四〇,八五六
染料、顏料、塗料及填充料	一八,八八三	七三,七九八	一五,八二〇	三三,五三九
綠綿及打綿	三三,三五一	九,一〇九	二,六三四	二,五七六
綿織物	三八八,五五六	一,五七一,七三三	二,三三三,七三三	一,〇〇〇,四八八
其他ノ糸織繩索及同材料	一六,三三三	六〇,二一一	一四,八七〇	七〇,九〇五
綿織物	三,六九九,三三二	三八,一七三,〇三三	二,八六六,三五五	三〇,三六〇,八七三
麻織物	四,二五七	一七,〇四九	五,四六九	一三,八九九
毛織物	八,一三三	一三六,八九七	二七,八一三	五〇三,一一三
絹織物	五,四七三	一〇三,三九九	一三,五七〇	一九六,六二九
其他ノ布帛及同製品	六〇,九四三	五一八,三五八	四〇,五〇一	二八二,九一七
靴及其他ノ履物	五,五四五	一一三,二一一	一,九二三	四三,九三七
衣類及同附屬品	七七,〇一八	二五七,八一八	一八〇,八〇〇	一三〇,五九七

品名	數 (斤)		價 (圓)	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
穀粉及澱粉類	三,七三五,九七〇	九四六,三三二	二,七八九,七三九	六一,八一三
魚介類	五八,三九四	一一九,〇三三	六〇,六一九	一八,六八五
清酒	一三三,五三三	三七八,九一六	四三,四五四	一四四,三五八
其他ノ酒類	六五,八〇八	一三三,八九八	一一,二八六	二六,七四四
果實及核子	三九九,五六六	五二八,三四三	三三,六三九	三三,八一二
其他ノ飲食物	三三〇,八九七	一,三〇三,〇五〇	二五,四九八	一六三,六三三
石鹼	四八,五九四	三五九,〇八三	一〇,二八八	七三,二二二
諸藥材及爆發藥	一一八,七三九	二二〇,八九〇	一六,六五七	四〇,八五六
染料、顏料、塗料及填充料	一八,八八三	七三,七九八	一五,八二〇	三三,五三九
綠綿及打綿	三三,三五一	九,一〇九	二,六三四	二,五七六
綿織物	三八八,五五六	一,五七一,七三三	二,三三三,七三三	一,〇〇〇,四八八
其他ノ糸織繩索及同材料	一六,三三三	六〇,二一一	一四,八七〇	七〇,九〇五
綿織物	三,六九九,三三二	三八,一七三,〇三三	二,八六六,三五五	三〇,三六〇,八七三
麻織物	四,二五七	一七,〇四九	五,四六九	一三,八九九
毛織物	八,一三三	一三六,八九七	二七,八一三	五〇三,一一三
絹織物	五,四七三	一〇三,三九九	一三,五七〇	一九六,六二九
其他ノ布帛及同製品	六〇,九四三	五一八,三五八	四〇,五〇一	二八二,九一七
靴及其他ノ履物	五,五四五	一一三,二一一	一,九二三	四三,九三七
衣類及同附屬品	七七,〇一八	二五七,八一八	一八〇,八〇〇	一三〇,五九七

品名	數量		價額	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
紙製	二二,六八八	二二,〇九七	五,二七三	一九,〇一四
紙製	四四,八四一	八〇,二六八	二八,七七四	三五,九〇一
陶器	六三,六三六	二八,八四八	六,三四三	四三,一九三
鐵及同製品	六三,八七五	八一,七六一	一七,八八六	三五,五五二
其他ノ金屬	二八,六七七	一五七,八六九	二九,一九三	六三,四九九
時計、學術器	九,七一一	三三,七四〇	一四,〇二九	一三,二八二
車輛及同部分品	五,九八一	一八,二七六	一三,二九五	七,一五八
機械類	三三,五六三	一一九,八三三	八六,二六九	三四,四八八
遊戲具及玩具	一八,四五六	二九,八四八	一一,三九三	一〇,六八八
其他ノ諸品	三九五,二八四	二八三,〇二二	一一,三七三	一〇七,二六五
計	10,114,111	36,014,635	357,196,633	3,860,944

(B) 內國貨物

一、朝鮮經由滿洲仕出內地仕向貨物二年比較表

(釜山港移出貨物)

品名	數量		價額	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
大豆	二〇,四六六	九九一	三二,二二九	一九,八三三
小豆	二〇,三六七	一九,一三六	一三,九六三	一〇,七七一
計	40,842	20,127	46,192	30,604

二、朝鮮經由內地仕出滿洲仕向貨物二年比較表

(釜山港移入貨物)

品名	數量		價額	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
生絲	二,四〇六,九八七	一,六一六,一八〇	六,九六一,三〇七	七,〇六七,三〇七
柞蠶絲	二九,〇七三	一四七,三四三	二四,九一〇	一八〇,九一一
其他ノ糸織繩索			六二,一〇一	三三,三三〇
其他ノ諸品			一〇二,六六一	一五二,一〇一
計	2,436,060	1,763,623	7,180,918	8,573,645
生菓	五二,八三三	六〇,一七三	一三,七一一	一四,八一〇
柑類	二六八,九三三	八六一,八三一	一七,〇八六	七五,六五〇
茶類	三〇,九二〇	三三,四八三	六,四四四	一三,三三三
綿絲	五五八,三九六	一,〇七二,〇五八	三九三,九〇四	七三二,五六八
布帛及同製品			六二,四七〇	三八,一一三
和服			四五,三四四	四八,三三二
洋服			八六,〇四〇	四一,一〇三
洋衣服			九,六一七	二六,一一五
肌襪			一九,八三五	二九,一八
護脚袋			二七,五七七	一,八二〇
地下足袋				
計	1,014,111	1,763,623	1,820,918	2,573,645

品名	其他ノ靴		其他ノ衣類		和紙		書籍及雜誌		其他ノ紙及紙製品		陶磁器及 其他ノ粘土製品		金屬製品		機械類		木製品		ランプ及同部分品		遊戲具及玩具		其他ノ諸品		合計
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
履																									
其他ノ靴																									
其他ノ衣類																									
和紙																									
書籍及雜誌																									
其他ノ紙及紙製品																									
陶磁器及 其他ノ粘土製品																									
金屬製品																									
機械類																									
木製品																									
ランプ及同部分品																									
遊戲具及玩具																									
其他ノ諸品																									
合計																									

鮮内仕出仕向地別ニ觀タル釜山港對内地貿易

内地對滿洲關係の釜山港通過貨物に就ては叙上の通りであるが、本港の對内地貿易に關し、鮮内貿易に關し鮮内の仕出、仕向地別に仲繼貨物を調査するに大体左表の如くである、之に依つて地方直取引の趨勢並に釜山自体との勢力關係等をも略察知せ

られる、尤も本調査は鐵道便に依つたものが大部分を占むるから實際と合致せざる点もあるが、貨物の移動狀況に關する參考資料として掲ぐる。

(A) 移出

品名	釜山 (自体)		京城 (通過)		其他鮮内 (通過)		滿洲 (通過)		計 (釜山港貿易額)		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
玄米	六三、七、八三	二、七、六、五二〇	一三	二、四、三	四、七、〇三六	七、四、八、三六七	〇	〇	六八、四、八七八	二、一、〇、三、七七七	
精米	九八、四、二四五	一、六、五、四〇一	一三	二、五、〇九三	二、五、〇九三、四九一	七、九、八	〇	二	一、一、九、三、五五三	三、〇、〇、三、一九七	
大豆	八、一、七六一	六、九、三、九〇八	三	三	一、六、三、九八	一、三、八、六八五	一	二	九、八、一、六三	八、三、二、六三六	
煮乾	四、八、三、四六一	一、六、三、九、五四八	五、六、二二	一、七、七九	四、八、四、四三三	一、四、五、九〇	八	一	四、九、七、五三三	一、六、五、九一八	
海苔	四〇、八、二二五	一、一、九、七、二二七	一〇一	二、九一	八、七、三三	三、四、五、四三			四、七、〇、一〇一	一、二、三、〇、七三三	
林檎	一、三、七、〇九〇	一、七、五、一、五二六	六、八、五三八	九、四、六、九三三	九、三、九、三三	八、五、六			七、四、九、五七二	九、五、〇、〇、四四四	
繭	七、四、六三	一、一、三、四、九	三、二、五、七九五	三、三、三、六九四	九、三、四、一九一	一、一、四、三、三〇	三、九、九四	一、一、三、三、八四一	一、一、三、三、八四一	一、一、五、三、三、五七七	
生絲	一、七、七三	九、四、〇、九	三、三、五、一三〇	二、〇、〇、〇、八七九	四、八、四、四、七七八	八、八、四、〇、九〇			一、八、三、二、七四〇	一、〇、八、八、五、一七八	
柞蠶生絲					七、四、〇、〇	一、八、五、〇、〇、三、四〇六	九、八、七、六、九、九、二、三、七			二、四、一、四、三、八七	六、九、七、九、八、〇、七
牛頭	二、四、一、四一四	一、五、〇、四、〇、三、五							二、四、一、四一四	一、五、〇、四、〇、三、五	
小包郵便物											
其他ノ諸品											
計											

第五 通過貿易

總額ニ對スル 前年百分比	100	100	100	100	100	100	100
-----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(B) 移入

品名	仕向地	釜山 (自体)		京城 (通過)		其他鮮内 (通過)		滿洲 (通過)		計 (釜山貿易額)	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
柑類	斤	四、〇三六、七三四	二、八三三、六三八	〇、〇五〇、三二八	二、九四四、九一〇	三、七三三、七九一	二、七九、九九九	二、六八、八九三	一、七、〇八六	二、〇八九、七四五	八七五、六〇三
油類	斤	二、〇九七、四二八	二、八四二、四〇三	—	五、四三〇	—	三六、六九〇	—	—	二、一三九、五九五	二、一三九、五九五
綿織物	方碼	三、〇五二、〇六〇	二、九九八、九六〇	二、七二、〇五九	二、四三、六九五	四、八三三、三三三	七三、七三〇	五、四八、一三五	二、八五、七七四	六、四四〇、三〇一	三、六〇八、六四九
絹織物	同	三、六四九、五〇八	一、八八五、四八三	一〇、四一四	四、八、五三四	二、九一五、六二〇	七二、九九七	—	—	三、六六八、七三九	四、七六九、四八一
洋衣服	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
肌袋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地下足袋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
洋紙及和紙	斤	四、六九、三六六	九二八、七二〇	三、七、四三八	八、九、三七七	一、一六三、九五八	二、九三、三三八	二、五、六四五	九、四、三三	六、一〇六、一五七	一、三二〇、七四八
書籍及雜誌	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石炭	噸	二、七、五四三	一、一三三、一六九	二	六九八、一五〇	—	六二六、七四五	—	—	—	—
計											
總額ニ對スル 前年百分比			五〇		一八		三〇		〇		二七、五六五

品名	仕向地	釜山 (自体)		京城 (通過)		其他鮮内 (通過)		滿洲 (通過)		計 (釜山貿易額)	
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
自動車及同部分品	—	—	六六三、七六〇	—	—	—	—	—	—	—	六六三、七六〇
機械類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小包郵便物 (織物ヲ除ク)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他ノ諸品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計											
總額ニ對スル 前年百分比			四九		一九		三〇		二		二、〇五七、一九九

第六、加工貿易

鮮内に於て加工の爲め當港を出入する貨物としては、(A)綿織糸を移入して緋木綿を製織移出するもの、(B)手柄羽二重等を移入して絞り加工の後移出するもの、(C)手巾、テーブル掛等の亞麻布を移入して刺繍加工の後移出するもの等を主要なるものとし、之が概況を述ぶるに左の如くである。

(A) 緋木綿

本品は當地を始め全鮮各地の刑務所に於て製織せられるものであるから、手柄羽二重等の加工品とは自ら其の趣を異にして居るが、原糸は主として久留米、羽犬塚、二日市等より移入せられ、就中久留米大部分を占め、製織の後は再び之等の各地に移出せられるものである、併しながら右の原糸は他の移入綿織糸との區別調査困難の爲め之を計數的に擧げる事は出来ないが、當港移出緋木綿の大部分は本加工品であると云ふも過言では無いから、參考の爲め左に之が二年間の移出高を對照表示する。

釜山港ニ於ケル緋木綿ノ移出高二年對照表

年 別	數	量(方碼)		價 額(圓)
		昭 和	昭 和	
昭 和 五 年		一、一八、〇五三	七六七、四三三	六六一、七九九
昭 和 六 年		七六七、四九五		

(B) 羽二重其他ノ絞り加工品及刺繡加工用亞麻布

絞り加工品は、鮮人婦女の家庭工業向に近年手柄用羽二重の移入せられたのが嚆矢であつて、其後不景氣の折柄有望なる内職として發達の傾向を示し、仲介取引業者も漸く増進の趨勢を辿り、從來加工地として發達して居つた名古屋及静岡方面も今や漸次朝鮮に其の地盤を奪はれつゝあるの觀がある、而も時代の變遷に連れ近來は單に手柄用品に止まらずして衿地、帶揚、兵兒帶、帶地、衣服地等諸種の移入を見るに至つた事は注目す可き現象であつて、財界不況の影響から加工賃も漸次低落歩調を示すに拘らず、本年の如き相當増進を告げた、尤も機械加工品は設備其他の關係上、又人絹物は手柄の如き季節向柄に依つて流行を追はむとする關係から、運送加工に時日を要する事を嫌ひ、共に未だ進展を見ない様である。

次に刺繡加工の爲め移入せられる亞麻布は加工仕上げの後米國に輸出せられるもので、原料麻布は米國産が横濱經由移入せられ、製品は再び同地經由輸出せられるのである。

尙ほ右當港移出入品の主なる加工地を擧ぐれば左の如くである。

絞り加工品、 慶北金泉郡、忠南扶餘郡、忠南江景郡、全北益山郡  
 刺繡加工品、 忠北清州

手柄用羽二重其他ノ移入出表

品 名	一、移 入		二、移 出	
	昭 和 六 年	昭 和 五 年	昭 和 六 年	昭 和 五 年
絞り加工用 絹羽二重	七二、五三三	五六、三三八		
同 絹縮緬	五、二七三	四、七六六		
同 絹銘仙	四四九	七〇		
同 絹緋布	九八三	二六六		
同 絹人絹布				
刺繡加工用 亞麻布	三、三六〇	二、四〇二		
品 名	數	價 額(圓)	數	價 額(圓)
絞り加工用 絹羽二重			五三、九五六	五、一七〇
同 絹縮緬			一、八一七	一、〇二二
同 絹銘仙			一	〇
同 絹緋布			五四	〇
同 絹人絹布			三四	一、二
刺繡加工用 亞麻布			一五、八〇八	一、〇一一
品 名	昭 和 六 年	昭 和 五 年	昭 和 六 年	昭 和 五 年
絞り加工	六八、〇五七	四、二二八	六八、〇五七	四、二二八
同 絹縮緬	四、二二八	二九九	四、二二八	六八八
同 絹銘仙	二九九	三五八	二九九	三五八
同 絹緋布	三五八	七、三五三	三五八	七、三五三
刺繡加工	二、四〇二	一、九一四	二、四〇二	一、九一四

### 第七 保税倉庫 私設保税倉庫

本港に於ける本年末現在の私設保税倉庫は左表の通りであつて、前年末に比し坂田私設を増したる外興業會社、スタンダードの二倉庫に多少坪數の變動があつた。

所在地	構造	棟	坪數	經營者	營業開始年月
税關構内	煉瓦造瓦葺	二	三三	株式會社朝鮮商業銀行	大正十一年四月
府内大倉町一丁目	木骨土藏煉瓦張	二	三二	朝鮮興業株式會社釜山支店	同 年八月
同 四丁目	木造亜鉛板葺	二	三四	セ・テキサス・コムパニー(チャイナ)リミテッドブリグウェイト	昭和五年二月
東 菜 郡 西 面	空 地	一	六	朝鮮運送株式會社	同 年九月
同	木造瓦葺	一	五〇	朝 鮮 運 送 株 式 會 社	同 年九月
府内大倉町四丁目(釜山驛構内)	鐵骨亞鉛板張	一	六四	ゼ・スタンダード・オイルカンパニ	同 年十二月
府内瀛仙町	空 地	一	六、二七	イ・オブ・ニューヨーク横濱支店	同 年十二月
同	木骨亞鉛板張	一	五	坂 田 文 吉	同 六年十二月
東 菜 郡 西 面	木骨亞鉛板張	一	五	坂 田 文 吉	同 六年十二月

備考 官設保税倉庫は昭和四年六月廢せられた。  
本年中本倉庫に於ける貨物の出入狀況を表示すれば左の如くである。

### 入出庫貨物噸數價額二年比較表

區別	種別	噸數 (噸)		價 額 (圓)	
		昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
入 庫	外國貨物	一三、四九	一三、三三	一、〇六八、七七一	一、一九一、九九七
	內國貨物	一〇、八八	七、九六〇	六九九、二一九	六七五、七九九
	計	二四、三七七	二一、二九三	一、七六七、〇〇六	一、八六七、七九六
出 庫	外國貨物	四、三三	三、三三〇	三七九、一〇一	一、三四六、五三四
	內國貨物	一〇、〇三	六、三四一	七三、八八一	五五二、八七六
	計	一四、三六	九、六七一	四一三、〇一二	一、九〇一、四一〇
年末殘高	外國貨物	一〇、五三九	九、〇八〇	八三三、三三六	一四一、六四一
	內國貨物	三、五七六	二、七一〇	三〇五、二四四	三九、八八八
	計	一四、一一五	九、七九〇	一、一三八、五八〇	一七、五三〇

備考 本年中出入内國貨物の主要なるものは大豆、小麦、小豆、小麦等であつた。

### 入出庫外國貨物價額種別二年比較表

種 別	入 庫		出 庫		年 末 殘 高	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
飲 食 物	一〇五、五七〇	八七、六〇九	一〇七、一三四	一〇〇、九六三	三、四五四	五、〇〇八
絲 織 繩 索 及 布 帛	二三、〇六八	三九、〇六六	一八、九一九	八、九〇八	四、八三九	六、〇
	△	△	△	△	△	△
	一、五、九五八	一、七、七〇三	一、八、九一九	九、八八九	四、八三九	六、〇
	△	△	△	△	△	△
	一、五、九五八	一、七、七〇三	一、八、九一九	九、八八九	四、八三九	六、〇





(二) ライ社工場

(昭和六年)

品名移入		品名移出	
数量	金額(圓)	数量	金額(圓)
原油及重油	三、壹一、四三五	輪	三、四六三、三四四
鐵製品	一〇、六七六	運送	三〇、五九八
木製品	一三、三六八	保稅工場移入	一〇、九二一
計	四〇、八六一	計	四四、一四三

三) 藤田工場 (統營)

(昭和六年)

品名移入		品名移出	
数量	金額(圓)	数量	金額(圓)
原油及重油	七四三、五八三	輪	六五二、四六五
計	七四三、五八三	計	七二、五四八

四) 林兼工場 (羅老島)

(昭和六年)

品名移入		品名移出	
数量	金額(圓)	数量	金額(圓)
原油及重油	二六、三六六	輪	三二七、五〇〇
鐵製品	一、三三九	計	三二、九二二
計	二七、七〇五	計	三五、四二二

五) 林兼工場 (方魚津)

(昭和六年)

品名移入		品名移出	
数量	金額(圓)	数量	金額(圓)
原油及重油	一四、五〇九	輪	一三三、一五五
計	一四、七〇七	計	一三、四〇一

六) 大二工場

(昭和六年)

品名移入		品名移出	
数量	金額(圓)	数量	金額(圓)
原木	三、八八八	原木	二九七
板	一四〇、一九三	板	八三、七〇四
其他ノ木材	一四三、六八三	其他ノ木材	一一〇、五六五
薪材	一七三、三七七	薪材	三、〇二九
計	四〇一、五四一	計	三、五三三

七) 若狭工場

(昭和六年)

品名移入		品名移出	
数量	金額(圓)	数量	金額(圓)
原木	九三、八二六	原木	九六四
材	一〇五、八六九	材	六、三三〇
計	一九九、六九五	計	一〇、九六四

第九 私設上屋

計	七九、〇〇〇	七九、〇〇〇
板	三、七〇〇	三、七〇〇
其他ノ木材	六、四三三	六、四三三
薪計	一、九三三	一、九三三
計	一一、〇六六	一一、〇六六

二五〇

第九 私設上屋

本港に於ける本年末現在の私設上屋は左表の通であつて前年末と同然である。

所在地	構造	棟数	坪数	經營者	營業開始年月	備考
釜山 稅關 第二埠頭基部 府内凡一町	鐵板製及鐵筋コンクリート製貯藏槽 鐵板製貯藏槽	二	三	大鮮 永市 松 大鮮 醸造株式會社	昭和四年一月 昭和五年九月	

私設上屋貨物搬出入高表 (昭和六年)

品名	搬出量 (斤)		搬入量 (斤)		上屋別
	數量	價額 (圓)	數量	價額 (圓)	
糖蜜	三、〇〇〇、三三〇	七三、六〇八	四、八二、〇六六	四、八二、〇六六	大鮮 永市 松 大鮮 醸造株式會社

第十 運輸交通

(一) 船舶

本年中當港の入港船舶は汽船三千三百四十四隻三百二萬四千餘噸、帆船二千六百三十八隻六萬三千餘噸、合計五千九百八十二隻三百八萬八千餘噸で、前年に比し汽船は百四十一隻二萬八千餘噸、帆船は一百七十七隻一萬七千餘噸、合計三千三百十八隻四萬六千餘噸の各増加を告げ、出港に於ても亦略同様の振合にて増加を示した。

入出港貿易船舶隻數及噸數船種別二年比較表

船種	昭和六年		昭和五年		増減 (△)	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
入港	汽船	三、三四四	三、二〇五	三、〇〇〇、三三三	二八、三三九	二八、三三九
	帆船	二、六六六	二、四六一	六三三、七九〇	一七、七三三	一七、七三三
出港	汽船	三、三三九	三、一八八	三、〇〇〇、九〇七	三三、四三二	三三、四三二
	帆船	二、六六八	二、四六六	六三三、三五七	一七、〇八一	一七、〇八一
計	汽船	三、三三九	三、一八八	三、〇〇〇、九〇七	三三、四三二	三三、四三二
	帆船	二、六六八	二、四六六	六三三、三五七	一七、〇八一	一七、〇八一

入港貿易船舶隻數及噸數月別二年比較表

月別	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸
一月	四五〇	四六〇	四〇三	三八一	二四三、二二二	二七二、三三〇	△	三〇、一一八
二月	三九三	三八二	四〇三	三八一	二五九、〇五七	二四七、〇三九	△	七、九八三
三月	五二四	四〇三	四三二	四〇三	二七七、四八八	二六〇、五九八	△	一六、八九〇
四月	五七三	四四三	五五三	四三二	二五五、四七五	二六五、〇四六	△	九、五七一
五月	五七六	五三三	五三三	四〇三	二六〇、六〇五	二四四、七八七	△	一五、八一八
六月	二、九六一	二、七五一	二、七五一	二、七五一	一、五九、七〇七	一、五三三、四六八	△	七、二六九
七月	四七五	五二二	五二二	四六六	二五九、〇六五	二五九、〇〇一	△	一、九三六
八月	五二一	四三二	四三二	四七二	二五五、五七〇	二四一、八八三	△	一三、六八七
九月	五一八	四七二	四七二	四七二	二五六、八九七	二二六、七九四	△	一〇、一〇三
十月	五〇八	五二二	五二二	四八	二五八、九八九	二四六、八六一	△	一一、二一八
十一月	四六四	四五六	四五六	八	二六二、五三九	二五五、〇九四	△	七、四三五
十二月	五三七	五二七	五二七	二〇	二九〇、二三五	二九二、八二三	△	二、五九七
計	三、〇一一	二、九三三	二、九三三	一〇六	一、五八八、二七五	一、五二九、四三三	△	五八、八〇〇
平均計	三、九六二	四、六六四	四、七二	三、八	三、〇八八、〇三三	三、〇四一、九三三	△	四六、〇〇九
合計	四九	四七二	二七	二七	二五七、三三四	二五三、四九三	△	三、八四一

入港貿易船舶隻數及噸數船種別五年對照表

年次	汽		帆		計	
	隻	噸	隻	噸	隻	噸
昭和六年	三、三四四	三、〇三三、三三三	二、六三八	六三、七九〇	五、九八二	三、〇八八、〇三三
昭和五年	三、〇〇三	二、九九五、八六八	二、四六一	四六、〇六五	五、四六四	三、〇四一、九三三
同四年	二、九二七	二、八一九、五二四	二、五八八	三八、四六九	五、五一五	二、八五七、九八三
同三年	二、六三八	三、六六八、三一一	二、四六七	三五、五〇九	五、一〇五	二、七〇七、〇九一
同二年	二、五一一	二、六〇〇、〇三三	一、七〇〇	三〇、七三六	四、二〇一	二、六四〇、七五二
同元年	二、四三五	二、四三三、七三三	一、八八九	三四、九三三	四、三三三	二、四六八、六四五

而して入港船舶を資格別に調査すれば、外國貿易船一十五隻二十一萬三千餘噸、内地貿易船五千八百六十七隻二百八十七萬四千餘噸で、前年に比し前者は二十六隻一萬九千餘噸を減退し後者は三百四十四隻六萬五千餘噸を増加した、又之を國籍別に觀れば外國籍船舶、内地及朝鮮籍船舶共に増加を告げた。本年も一般には依然不景氣ではあつたが豊作尻まで鮮米の積取り頗ぶる活況を呈し且つ海運界の不況に因る船腹の過剰は不定期航路への割込をも招致したので對内地貿易船の出入は可なり増加を告げたが、外國貿易船は對支貿易不振なりし爲め内地籍臨時船の入港するもの尠く、爲に左表の通り入出港共不振を示した

入出港貿易船舶隻數及噸數資格別二年比較表

資格	昭和六年		昭和五年		昭和六年		昭和五年	
	隻	噸	隻	噸	隻	噸	隻	噸
外國貿易船	一一五	一、一五	一四一	一、四一	二二二、二四二	二二二、二四二	△	一、九六〇
内地貿易船	二、九〇六	二、九〇六	二、七九二	二、七九二	三、〇六六	三、〇六六	△	一、九六〇

第十運輸交通

出港	入港	
	內地貿易船	外國貿易船
計	五、八六七	五、九八二
計	五、八四六	一一一
計	五、九五七	五、六四四

二五四

入出港貿易船舶隻數及噸數國籍別二年比較表

國籍	隻數		噸數	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
內地	五、二七三	五、〇二九	二、六〇〇、一七〇	二、五七五、七〇六
朝鮮	六七一	五九八	三八九、六九四	三八五、四九八
中華民國	一四	三三	三五、二二二	三七、九九七
英吉利	三	五	八、六七一	一五、五四五
諸威	六	七	一五、八〇七	一五、一四四
北米合衆國	八	三	三〇、八〇三	一一、〇三三
其他ノ諸國	八	三	一七、六五五	一七、六五五
計	五、九八二	五、六六四	三、〇八八、〇三三	三、〇四一、九三三
內地	五、二五五	五、〇一一	二、五九六、五一五	二、五六三、四九六
計	五、九八二	五、六六四	三、〇八八、〇三三	三、〇四一、九三三

出港	入港	
	朝鮮	中華民國
計	六六三	五九七
英吉利	一五	三
諸威	三	二
北米合衆國	六	五
其他ノ諸國	七	七
計	五、九五七	五、六四四

定期命令航路一覽表

(昭和六年十二月末現在)

命令別	線路	航海度數	船名	總噸數	經營者
朝鮮總督府	釜山・浦蘆新線	年三〇回	金剛丸	二、二一六	朝鮮郵船株式會社
	雄基・大阪線	月三回	漢城丸	二、一九五	
	朝鮮・上海線	年一八回	榮江丸	一、二五三	
	新義州・大阪線	年三六回	春川丸	一、一六〇	
			慶安丸	九七一	

第十運輸交通

二五五

官 督	臺灣總督府	朝鮮總督府 (釜山府命令併用)	長崎縣	逕信者	同	同	朝鮮總督府
關釜連絡船	臺灣・朝鮮・滿洲線	釜山・博多線	長崎・壹岐・對馬線	朝鮮西岸線	朝鮮・北海道	朝鮮・長崎・大連線	雄基・東京線
日二回	月二回	月二八回	月六回	年二四回	年二五回	月三回	月一回
昌慶丸	德壽丸	第二養老丸	神州丸	珠博丸	朝博丸	佐賀丸	長壽丸
大谷汽船株式會社	朝鮮郵船株式會社	北九州商船株式會社	同	同	同	同	大阪商船株式會社
三、六六九	三、六六九	三、六六九	二、三〇〇	二、八八四	七九五	一、三六〇	二、八八四
鐵道省	近海郵船株式會社	同	同	同	同	同	同

備考 關釜連絡貨物航路は省く次表亦同じ。

定期命令航路二年比較表

線 路	航 海 度 數		使 用 船 數		同 上 總 噸 數	
	昭和六年末	昭和五年末	昭和六年末	昭和五年末	昭和六年末	昭和五年末
釜山浦壺大阪線	年三〇回	年三〇回	二	二	四、三二一	二、九四八
朝鮮上海線	年一八回	年一八回	一	一	二、〇九一	一、五六一
朝鮮長崎大連線	月三回	月三回	二	二	二、八四五	二、七九五
朝鮮北海道大連線	年二〇回	年二〇回	三	三	七、〇六七	五、九九三
臺灣朝鮮滿洲線	月二回	月二回	二	二	五、一〇四	五、一〇四
雄基大阪線	月三回	月四回	三	三	三、三六四	三、二五
新義州大阪線	年三六回	月四回	三	三	三、八二六	三、八二六
雄基東京線	月一回	年一六回	一	一	二、一七〇	二、一三一
朝鮮西岸線	年二四回	年二四回	一	一	四、二四三	四、二八一
長崎壹岐對馬線	月六回	月六回	一	一	五、四九	五、四九
博多釜山線	月二八回	日發	二	二	二、〇七五	二、〇七五
關釜連絡船	日二回	日二回	三	三	一〇、八五七	一〇、八五七
計			二五	二五	四八、三三三	四三、二六五

次に全鮮主要港に於ける最近五年間の對外國及内地貿易船舶の入港噸數を表示すれば左の如くである。

全鮮港別對外國及內地貿易船舶入港噸數五年對照表

(登簿噸數)

港別	昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年
釜山	三〇八、〇三三	三〇四、九三三	二、八五七、六八三	二、七〇三、七三〇	二、六四〇、七五三
木浦	七三三、〇八五	七四二、五七七	六九四、二八四	七七七、九三	六九四、五三三
馬山	一九一、五九九	一六一、九三六	一七四、四二二	一三四、五六七	九五、二八三
仁川	四、三五五	二、五三三	一五、三九九	一六、一四八	一〇、〇一四
群島	一、三三、〇三三	一、三四六、二〇〇	八六一、四三三	一、一九一、一八七	九四五、〇三九
元山	五九、六九九	七〇五、八〇〇	六八〇、四九九	七五、八三	六八七、〇三〇
城津	五五、四九九	四〇四、一五九	三〇七、九四六	四七、六二〇	三八、〇八一
清津	四〇八、二五〇	四〇〇、五八一	三七五、二八八	三七六、五六五	二二、三四九
雄基	六三四、三六一	七三、〇七八	三九八、四〇一	六一九、三三九	四二、二八五
新義州	三七八、〇一〇	三三三、五三〇	二五三、三二七	三三三、六三六	二四五、九四六
龍岩	五三、七七〇	四九、二九三	六五一	七〇、九六四	五四、六八三
鎮南	一三三、一五〇	九六、九六五	七八、六四四	一〇〇、五五三	八九、四三三
其他	九五〇、一八一	八四、二三八	五二六、四七六	七一九、七〇五	六四一、〇六六
合計	一、九〇九、七六八	一、八〇一、二〇一	八、四八、七二六	一、〇九二、三〇七	七〇〇、二八三
合計	一〇、九三三、六一	一〇、一七、〇一〇	八、一三三、三三六	九、三三、一八四	七、八三三、七七七

尙ほ當港を基點とする本年の鮮内沿岸定期主要航路を掲ぐれば大体左の如くである

定期沿岸主要航路一覽表

(昭和六年十二月末現在)

命令自營別	線路	航海度數	船名	總噸數	經營者
朝鮮總督府	釜山・元山線	月九回	忠清丸	七一九	朝鮮郵船株式會社
	釜山・濟州島線	月五回	新義州丸	七〇八	
自營	釜山・木浦線	日發	鏡城丸	七四九	朝鮮汽船株式會社
			かもめ丸	三三二	
			かもめ丸	三三二	
			ちどり丸	九二	
			はやぶさ丸	九〇	
			第二天神丸	三三	
			同慶昌丸	三八	
			同慶信丸	三三	
			昭慶丸	一八一	
			昭慶丸	九七	
同	釜山・長生浦	月三〇回	昭慶丸	九七	同
同	釜山・江原道線	月八回	昭慶丸	九七	
同	釜山・九龍浦線	月三〇回	昭慶丸	九七	同
同	釜山・九龍浦線	月三〇回	昭慶丸	九七	

同	同	同	同	同	自
長承浦・釜山線	釜山・麗水線	釜山・麗水線(急行)	釜山・迂回線	釜山・統營直行	釜山・九龍浦線 釜山・舊馬山線
日	月一五	月二五	日	日	日
發	回	回	發	發	發
同	同	同	同	同	同
第二海運丸	釜山丸	第三光丸	太安丸	太平丸	慶釜丸 長久丸 慶南丸 第二鷹丸 三光丸
三	五	一	一	一	二
七	〇	九	九	九	六
巨濟海運株式会社	光本小四郎	同	同	朝鮮汽船株式会社	光本小四郎

(二) 貨物  
(A) 貿易貨物

本年中の出入貿易貨物は、輸出五千餘噸、輸入十三萬二千餘噸、移出七十四萬九千餘噸、移入六十二萬六千餘噸、運送三萬七千餘噸、積戻三千餘噸、通過八百餘噸、合計一百五十五萬五千餘噸で、前年に比し輸出八百餘噸、輸入七千餘噸、移入九萬九千餘噸、通過六百餘噸を各減少したが、移出二十二萬三千餘噸、積戻五百餘噸の増加であつたから、結局合計も七萬四千餘噸増進を告げた。

貿易貨物噸數種別二年比較表

種別	昭和六年	昭和五年	増減(△)
輸出貨物	五,101	五,938	△
輸入貨物	一三三,四八六	一四〇,四一八	△
移出貨物	七四九,三五六	五三六,一〇九	△
移入貨物	六二六,三四〇	七三五,四〇一	△
運送貨物	三七,九七三	七八,四一八	△
積戻貨物	三,七二五	三,一四一	△
通過貨物	八三六	一,四二〇	△
計	一,五五五,七〇六	一,四八〇,〇〇〇	△

貿易貨物噸數月別二年比較表

月別	昭和六年	昭和五年	増減(△)
一月	一三七,八六四	一四〇,一〇一	△
二月	一三六,六〇六	一〇〇,五三三	△
三月	一六六,八五七	一四九,六三三	△



年次	輸移出入貿易貨物噸數十年對照表 (噸)	
	輸出	輸入
昭和六年	七五九、三五七	七五八、八二六
昭和五年	五三三、〇四三	八六五、八二〇
平均計	一、二九、六四三	一、三三、四〇五
四月	一三三、四六九	一四四、六七〇
五月	一二五、七五五	一三八、四二九
六月	一一五、八一九	一〇三、四六一
七月	七九六、三〇〇	七四〇、六八八
八月	一一五、七七三	一〇〇、九七五
九月	一〇四、三二六	一一五、六一三
十月	一一三、五六〇	一〇九、三七六
十一月	一四三、七六一	一三四、八七八
十二月	一六九、三〇五	一三三、〇一三
合計	七五九、三五七	七四〇、一七五
合計	一、二九、六四三	一、四〇、八八〇
平均計	一、二九、六四三	一、三三、四〇五

輸移出入貿易貨物噸數十年對照表 (噸)

年次	輸	移	出	入	計
同 四 年	同	同	六〇七、一三〇	九五二、〇四二	一、五五八、一六三
同 三 年	同	同	七五七、四七七	九一一、四六〇	一、六六八、九三七
同 二 年	同	同	七〇七、〇九三	八九〇、一一六	一、六〇〇、二〇九
同 元 年	同	同	六六〇、五二六	七九二、五六三	一、四五三、〇八九
大 正 十 四 年	同	同	六三三、七三五	六四〇、六五四	一、二七三、三八九
同 十 三 年	同	同	七〇八、四九九	六三三、〇三三	一、三四一、五三二
同 十 二 年	同	同	六二八、〇三三	六五三、三四三	一、二八一、三六六
同 十 一 年	同	同	四九一、三五七	五五一、〇七〇	一、〇四二、四二七

次に右の貿易貨物中海路に依るもので、積載船舶の繋留場所別に積卸貨物噸量を調査すれば、左表の如く第一棧橋は船積二十五萬餘噸、船卸二十四萬餘噸、第二棧橋は船積十六萬餘噸、船卸五萬餘噸、沖合は船積二十六萬餘噸、船卸四十六萬餘噸で、前年に比し第二棧橋及沖合に於ける船積貨物に増加せし外、各減少し、特に第一棧橋に於ける積卸の減少著しく、爲に合計十一萬餘噸の減退であつた。

船舶繋留場所別貨物積卸噸數表 (昭和六年) (噸)

船舶繋留場所	汽 船		帆 船		計	
	積	卸	積	卸	積	卸
第一棧橋	二四九、三五七	二二八、八三三	一、三六七	二、七〇四	二、五〇、六四一	二、四一、三五七
第二棧橋	一一一、九八五	四〇、〇三三	四三、六五九	一一、一四八	一、四四、二四四	五二、一八三



(1) 鐵道地發着貨物

一、地 發

釜山三驛地發貨物噸數品種別二年比較表

品名	昭和六年	昭和五年	增減(△)	品名	昭和六年	昭和五年	增減(△)
米	470	2,533	△	石油	8,484	8,879	△
小麥	2,570	1,333	△	石炭	25,994	25,339	△
魚類	14,448	1,544	△	セメント	6,979	7,100	△
綿糸	8,007	1,623	△	木材	8,308	10,273	△
煙草	1,510	2,453	△	肥料	15,695	23,929	△
磁器	2,033	1,593	△	其他	83,920	72,944	△
陶器	1,916	2,653	△	計	120,333	121,344	△
金屬類		737				10,010	

二、地 着

釜山三驛地着貨物噸數品種別二年比較表

品名	昭和六年	昭和五年	增減(△)	品名	昭和六年	昭和五年	增減(△)
米	301,948	107,311	△	肥料	4,057	2,331	△
粟	693	2,444	△	繩隊及	4,844	7,453	△
大豆	3,816	3,339	△	金屬類	704	1,250	△
砂糖	1,381	1,381	—	セメント	8,742	7,010	△
野菜	2,043	2,463	△	薪炭	9,949	9,516	△
煙草	1,845	2,668	△	活牛	7,634	5,937	△
木材	15,169	10,435	△	其他	62,247	51,937	△
木槽	1,464	1,569	△	計	300,007	217,821	△
豆		4,744				10,753	
		105				11,545	

(口) 鐵道通過貨物

一、內地仕出

內地仕出釜山驛通過貨物噸數品種別二年比較表

品名	昭和六年	昭和五年	增減(△)	品名	昭和六年	昭和五年	增減(△)
綿布	12,697	22,486	△	麥	83	343	△
絲	4,455	6,033	△	竹材	89	646	△
		1,479				1,261	

品名	昭和六年		昭和五年		増減(△)
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	
和洋紙	四三三	四九六	△	七四	二七
生果	七、九八四	八、〇四〇	△	五	一四八
野菜	四、三七八	四、七〇〇	△	三三	四〇四
陶磁器	六九二	九一六	△	二二四	四〇八
鐵製器	六四一	六二二	△	一九	四〇八
和洋酒	四三八	六八	△	三三	三三八
打綿	三六九	六八	△	二五	一、五〇七
木材	一三七	五五四	△	一八五	二四、四六八
合計	一、四一	一、四一	△	一、四一	七六、〇九七

二、内地仕向  
内地仕向釜山驛通過貨物噸數品種別二年比較表

品名	昭和六年		昭和五年		増減(△)
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	
米	一五、三〇〇	一六、九二四	△	一、五九四	一〇九
大豆	一、一七九	一、二二四	△	四五	一〇
小豆	七七七	一、一八〇	△	四〇三	六五二
生果	九、一三三	四、〇〇三	△	五、一三九	六六
鹽魚	一、五二二	九四六	△	五七五	七、六四五
木炭	七、一五六	九、九九九	△	二、八四三	四三、四九五
合計	三、八四三	三、八四三	△	三、八四三	四三、六五四

次に手小荷物の發着個數を調査するに左表の如し。

釜山三驛發着手小荷物個數二年比較表

區別	發着		通過(釜山驛)		計	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
發送	一六七、七八八	一六七、〇五六	一、一三三、二三四	一、一六二、四三三	一、三九〇、九一三	一、三三八、四八〇
到着	七三、九九九	七、九七五	三三六、〇〇八	三三六、九九五	七〇〇、〇一四	四〇八、八九〇
合計	二四〇、七八七	二七五、〇三〇	一、四六九、二五二	一、四九八、四二八	二、〇九〇、九二七	一、七九七、三七〇
増減(△)					三七、六六八	三七、六六八

關釜連絡船扱地發着手小荷物個數二年比較表

區別	昭和六年		昭和五年		増減(△)
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	
發着	四九、七四九	一三五、八三六	四四、六八〇	一〇一、〇九〇	五、〇六九
到着	一三五、八三六	一八五、五八五	一〇一、〇九〇	一四七、七七〇	三、七四六
合計	一八五、五八五	一八五、五八五	一四七、七七〇	一四七、七七〇	三九、八一五

(三) 運賃

船貨運賃は船腹過剩と財界不況の爲め近年低落を重ねつゝありて、出荷の大宗たる鮮米運賃の如きも、船主の完全なる結成と

ブル出現、其他環境の好轉等に依り、年初海運界變体的に活況を呈したので、鮮航同盟會は從來の協定運賃を五月一日より七圓五十錢方値上げし阪神四十七圓五十錢と發表するに至つたが、其後環境も漸次悪化したし、帆船積取問題と錯綜して貨主側の猛烈なる反對に會ひ、紛糾に紛糾して遂に實行の運に至らず、十一月又々阪神四十二圓現場歩戻五圓（外に拂戻五分は從前通り）と發表を見るに至つた、既往に於ける運賃の足取を表示すれば左の如くである。

釜山阪神間米穀運賃變遷一覽表 (百石建)

改定年月	運賃	改定年月	運賃	改定年月	運賃	改定年月	運賃
大正六年一月	七〇	大正八年一月	一三〇	大正十年十二月	一〇〇	大正十三年十月	五五
同 年七月	七〇	同 年三月	九〇	同 十一年一月	九〇	同 十四年十月	四八
同 年十月	一〇〇	同 年十月	一〇〇	同 年七月	一〇〇	昭和四年七月	五三
同 年十二月	一〇〇	同 九年二月	七〇	同 年十二月	七〇	同 年十月	五〇
同 七年一月	一〇〇	同 年十一月	七〇	同 十二年一月	七〇	同 五年十一月	四〇
同 年四月	一〇〇	同 年一月	七〇	同 年十月	七〇	同 六年五月	三七
同 年十月	一〇〇	同 年十月	七〇	同 十三年七月	七〇	同 年十一月	三三

備考 一、右の運賃には本港の解船賃百石十圓を含む。  
 二、※印を附せるものは鮮航會の運賃である但し解船賃を含みます。  
 三、鮮航會の運賃は其内より五分を貨主に拂戻す。

釜山阪神間貨物運賃(米ヲ除ク)建値表

品名	單位	位	備	考
雜貨	單	位	昭和六年十二月末現在	
雜貨	單	位	昭和六年十二月末現在	
從價	每	百圓	四、三〇	礦油、綿、糖、海藻等甲及特に掲げたるものを除く
最低運賃	一	口	五、四〇	

備考 右は朝鮮郵船會社の建値であつて近年變動を見ないが、各船會社共時季の繁閑、貨物の多少、貨主との關係等に依り取扱上手加減があるから、實際の標準は右の値より一割乃至三割位迄下と見て大差なからう。

解船賃其他積卸費二年對照表

品名	單位	船内仲仕賃		接續費	
		昭和六年末	前年同期	昭和六年末	前年同期
穀物	百石	10,00	10,00 (1噸)	10,00	10,00 (同)
雜貨	一噸	乃至 1,000	乃至 1,000	乃至 1,000	乃至 1,000
石炭(散)	同	乃至 1,000	乃至 1,000	乃至 1,000	乃至 1,000
鹽(散)	同	乃至 1,000	乃至 1,000	乃至 1,000	乃至 1,000

備考 一、右の費用も取扱區々に亘るが爲め大体の標準を掲げた。

二、重量品、長尺物、其他特殊貨物は其の都度協定する。

三、右の解船貨は税關構内より解船へ又は解船より本船舷側迄の費用である。

四、税關構外積卸荷役に於ける解船貨は其の距離に依り割増金を支拂ふ場合もあり、又解船積込費用を貨主の負擔とすることもある

(四) 旅客

[A] 船舶旅客

本年中當港に於ける船舶旅客の乗降發着國別、並に來往者の國籍別等を前年に比較表示すれば次の如くである。

船舶旅客二年比較表

(人)

種別	昭和六年		昭和五年		増減 (△)
	乗客	上陸客	乗客	上陸客	
計	三六、四四七	三六、四四七	三五、四五〇	三五、四五〇	三六、九三四
乗客	三六、四四七	三六、四四七	三五、四五〇	三五、四五〇	三六、九三四
上陸客	—	—	—	—	—

船舶旅客數發着國別二年比較表

(人)

發着國別	昭和六年		昭和五年		増減 (△)
	乗客	上陸客	乗客	上陸客	
内地	三六、四〇一	三六、四〇一	三五、五一九	三五、五一九	六七、六五三
中華民國	—	—	—	—	—
其他ノ諸國	—	—	—	—	—
計	三六、四〇一	三六、四〇一	三五、五一九	三五、五一九	六七、六五三

船舶旅客數國籍別二年比較表

(人)

國籍別	昭和六年		昭和五年		増減 (△)
	乗客	上陸客	乗客	上陸客	
内地人	三五、〇〇七	三五、〇〇七	三五、〇〇七	三五、〇〇七	四九〇、二八七
朝鮮人	八、一三三	八、一三三	九、九八三	九、九八三	一七五、四五四
中華民國人	—	—	—	—	—
露西亞人	一、二六四	一、二六四	一、九〇四	一、九〇四	二、二六三
北米合衆國人	三八一	三六六	三九八	三九八	六七九
英吉利人	八九七	一、〇二一	八三三	八三三	一、七一九
獨逸人	三三三	三五六	二七五	二七五	五二七
其他ノ諸國人	一八三	二〇〇	二九六	二九六	六九六
計	三六、四四七	三六、四四七	三五、四五〇	三五、四五〇	三六、九三四

船舶旅客數五年對照表

(人)

年次	陸客	乗船客	合計		
				昭和六年	昭和五年
昭和六年	三三六、四四七	三三五、四五〇	六七一、八九七		
昭和五年	三八八、九三四	三五二、三三〇	七四一、二六四		
昭和四年	三八八、〇〇〇	四三四、八〇八	八三三、八〇八		
昭和三年	三七九、三九八	四二七、五八二	八〇六、九八〇		
昭和二年	三四三、五四九	三七九、三七四	七二二、九二三		
昭和元年	三三一、四八一	三二七、九三八	六四九、四〇九		

關釜連絡船乗降船客人員二年比較表

(人)

區別	釜山地發着		通過		合計	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
乗船客	一〇六、五三三	一一八、一三八	一八四、四四一	一八三、一〇七	二九〇、九六四	三〇一、一五五
降船客	八四、三六六	一〇一、〇五六	二〇〇、三七六	二二五、二九九	二八四、五二二	三三六、三五五
合計	一九〇、八九九	二一九、一五四	三八四、八一七	四〇八、三六六	五七五、四八六	六三七、五一〇
増減(△)						

(B) 鐵道旅客

尙ほ本年中釜山、草梁、釜山鎮三驛の乗降客を掲記すれば左表の如く前年より各減少を示した。

釜山三驛乗降客種別二年比較表

(人)

種別	昭和六年		昭和五年		増減(△)
	乗車客	降車客	乗車客	降車客	
地發	三七六、八〇七	二〇〇、三七六	三八八、九九三	二三五、二九九	△
通過	五七、一八三	五七、一八三	六四、二九二	六四、二九二	△
地着	三七二、九三七	一八、五九三	三九一、五九三	一八、五九三	△
合計	一、一八、五九三	一、一八、五九三	一、一八、五九三	一、一八、五九三	△
地發	七四九、七四四	七四九、七四四	七八〇、五八五	七八〇、五八五	△
通過	三六四、八一七	三六四、八一七	四一八、三一六	四一八、三一六	△
合計	一、一五、三一六	一、一五、三一六	一二、一五、三一六	一二、一五、三一六	△

### 第十一、税關收入

本年中釜山税關の收入税額は、本關に於て租税一百二十七萬餘圓、税關雜收入十一萬餘圓、合計一百三十九萬餘圓で、前年に比し租税三十四萬餘圓の減收、税關雜收入一萬餘圓の増加、合計三十三萬餘圓の減收を告げ、又管内支署及出張所に於ては、租税五十六萬餘圓、税關雜收入一萬餘圓、合計五十七萬餘圓で、前年に比し租税二萬餘圓の減收、税關雜收入三千餘圓の増收、合計二萬餘圓の減收を示した。

之が詳細を表示すれば左の通りである。

(一) 本關 收入税額種別二年比較表

種別	昭和六年		昭和五年		増減(△)
	年	年	年	年	
租税	三三六、四七八	四七四、八九八	△	一三八、四二〇	
移入税	四三三、七一九	五二一、七二一	△	七、九三三	
噸税	九、一三五	一〇、四八〇	△	一、三四五	
出港税	六九、四四三	三四、〇一三	△	六五、四三〇	

(二) 同

酒糖消費税	昭和六年		昭和五年		増減(△)
	年	年	年	年	
酒	二〇八、〇二八	三六〇、三五六	△	一五二、三二八	
砂糖	三九三、八二二	三三四、四六六	△	四一、二八四	
計	一、七九七、九七四	一、七〇九、九〇二	△	八八、〇七二	
税關雜收入	一七、三〇八	一〇三、〇〇〇	△	一八五、六九二	
合計	一、三九六、九六二	一、七七八、九三三	△	三八一、九七一	

備考 一、本表は曆年度に依つた實收額で、印紙收入は含んで居ない、以下の表亦同じ。  
二、圓位以下は四捨五入してある、以下の表亦同じ。

### 收入租税(酒税及砂糖消費税ヲ除ク)額種別十年對照表

(三)

年次	輸移入税	出港税	噸税	合計
昭和六年	六七〇、一九七	九九、四三三	九、一三五	七七八、四六五
同五年	九八六、六七九	三四、〇一九	一〇、九二〇	一、〇二一、六一八
同四年	一、三三三、四三七	九、七七八	九、九五三	一、三五三、一七七
同三年	一、四三三、七二五	九、一四四	七、六九九	一、四四八、五三八
同二年	一、〇一九、七七八	九、六七八	一〇、六五〇	一、一三〇、〇九六
昭和元年	一、六三三、〇一九	一三、三七八	九、六四七	一、六五四、三四
大正十四年	一、三三六、九五〇	一八八、五三三	三、七八六	一、五〇九、二六八







第十二 管内各地貿易關係諸計表

品名	單位	數量		金額	
		昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
乾海苔	斤	三,三三三	二,六九九	四,七四六	三,八六一
其他ノ諸品	斤			一八,一七九	三〇,六四四
計				三三,三六六	三六,八八三
				△	△
				三,四九六	一,一五五
				四,三六五	

輸入主要品二年比較表

品名	單位	數量		金額	
		昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
米	百斤	一,四八三	一〇四,九〇四	四,三八三	七〇六,九四三
粟	同		三三,五三五		一八七,七八〇
天日鹽	同		五七,五七五		三〇,九二九
原油及重油	同	二九一,二〇三	三〇三,九六四	一一,七六二	五,六二八
燈油	同	四八五,四三〇	七三三,〇五三	二二八,六三三	三,八一九六
石炭	噸	六,八七九	一四,二八三	七,四〇四	一九八,三三八
木材	立方尺	六三,八九五	一一四,一四四	五〇,二四九	四二,七五一
肥料	百斤	一一,〇九三	一七,七〇九	一,六〇九	五〇,〇六〇
其他ノ諸品	計				一一八,八八八
					△
					一,三三〇,〇七
					一,一八六

移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		金額	
		昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
米及類	石	七四九,五三三	四一五,八三五	一一,三九九,四五二	九,七六一,〇〇四
魚類	斤	一一三,六九八	一五二,九八五	二五,五一六	二九,一八三
乾海苔	同	八九,〇〇〇	一七,七八〇	一七八,四七〇	三八,九八〇
罐詰及食物	斤			二五,五二〇	五八,五二二
罐詰	斤			二五,五二〇	五八,五二二
油	斤	一,七三〇,六七五	三,一八七,一四〇	三三九,六〇〇	五六八,五六〇
綠綿	百斤	五九,〇二三	一四,三〇六	一,八一,一九三	六,〇三三,九〇四
海藻	斤	一,四三四,九八〇	一,二四三,七〇〇	一九一,二八〇	三二四,五八三
其他ノ諸品	計				六〇一,二四八
					△
					一五,二二,八四九
					三三九,三三九
					一〇,一九三,二七三

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		金額	
		昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
米及類	百斤	一,〇〇七,一〇七	三,三三三,三三三	一〇,五三〇	二八,五〇一
小麥粉	斤	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	一〇,一〇〇	三,〇〇〇
				△	△
					一〇,一〇〇
					三,〇〇〇

第十二 管内各地貿易關係諸計表

第十二 管内各地貿易關係諸計表

品名	單位	昭和六年	昭和五年	增減(△)	昭和六年	昭和五年	增減(△)
砂糖	斤	九五〇,七九二	一,〇六八,二六〇	△	八八,〇四七	一〇〇,三九四	△
清酒	升	一九,七七六	二七,七五九	△	一九,一八二	二九,四七三	△
麥酒	利	三〇五,五九九	三三二,〇七四	△	一〇八,五四八	一五〇,七九七	△
原油及重油	瓦	二五,七五〇	二八,七五〇	△	四,〇九五	五,四一三	△
揮發油	同	三九七,〇八六	二四七,五〇〇	△	二〇九,五四三	一六六,二二五	△
燈油	同	一四五,五五〇	一二五,五九五	△	六八,八〇二	六九,〇七九	△
輕油	同	二四六,六〇五	一六六,七二〇	△	八八,五八一	六九,八四六	△
機械油	同	五五三,一四七	五三九,七四四	△	五五,六六八	七六,七六六	△
安全燐寸(不燃)	斤	三六,三三三	三三,八〇四	△	二二,九三三	一〇三,〇三三	△
生金巾生シテ	方	一六三,六四五	四七六,九四五	△	六七,五九八	二七五,八七〇	△
晒金巾晒シテ	同	三,六五八,三五三	三,一六六,五二四	△	三九七,三七五	四八五,三二七	△
晒金巾晒シテ	同	一,八二二,六八七	一,八九六,五四六	△	二二六,〇五七	三三九,六四七	△
晒金巾晒シテ	同	四四八,三六六	五五三,一五九	△	四〇,八八四	六三,八〇三	△
白木綿	同	九三八,五九一	五五三,一五九	△	一六九,五三九	一二三,三四六	△
白木綿	同	六〇三,二〇一	五八八,九九九	△	二二,三四九	一六八,三三三	△
白木綿	同	一,七三二,九三五	一,七四一,九二二	△	二二,四三六	二七五,一八三	△
白木綿	同	九,一七三,一四三	八,五三三,三三三	△	一,〇九,〇九三	一,四四,六七八	△
白木綿	同	一〇八,六三〇	一〇八,八四四	△	八七,四九二	一〇〇,三九七	△
白木綿	同	九三,四七一	七九,二七三	△	二〇,二二三	一一六,三九九	△

船舶 出入港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		噸數	
	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
人絹布及人絹交織布	八七五,九三五	二,六七四,三二三	三,四〇〇,六六四	二,六〇〇,六〇七
肌襪靴	一一九,三三四	一一三,一九五	一五三,六六七	一三〇,四六六
護謨炭	五九,〇四六	八六,七三五	三〇九,八四九	三〇九,八四九
石炭	一一九,三三四	一一三,一九五	一四七,五五七	一四七,五五七
セラメント	五九,〇四六	八六,七三五	二七,六八九	二七,六八九
陶磁器及 其他ノ粘土製品	五,二五八,六一一	五,六九七,八五二	二,四三九,二四一	二,四三九,二四一
銅及鐵	五,二五八,六一一	五,六九七,八五二	二,四三九,二四一	二,四三九,二四一
木村	五,二五八,六一一	五,六九七,八五二	二,四三九,二四一	二,四三九,二四一
硫酸肥料	五,二五八,六一一	五,六九七,八五二	二,四三九,二四一	二,四三九,二四一
其他ノ肥料	八六,五七六	一六〇,一四三	七三,五六六	七三,五六六
其他ノ諸品	八六,五七六	一六〇,一四三	七三,五六六	七三,五六六
計	八七五,九三五	二,六七四,三二三	三,四〇〇,六六四	二,六〇〇,六〇七

第十二 管内各地貿易關係諸計表

入港	隻數		噸數	
	汽船	帆船	昭和六年	昭和五年
汽船	八九〇	九四九	七,〇三〇,六四八	七,〇三〇,六四八
帆船	六九	七三	一,五三七	一,五三七
計	九五九	一,〇二二	八,五六七,二八六	八,五六七,二八六

第十二 管内各地貿易關係諸計表

出港 計	汽船		帆船	
	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
八八九	九五一	二,四三三	六二	七,〇一〇
六九	六四	二,五二一	五	二,三八三
九五八	九一〇	七,〇〇七	五七	七,四九六
				△
				△

入港貿易船舶隻數及噸數十年對照表

年次	汽船		帆船		計
	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	
昭和六年	八九〇	七〇〇,六四八	六九	二,四三七	九五九
昭和五年	九四九	七四〇,二二七	七二	二,四五〇	一,〇一一
昭和四年	九三二	七六四,五三七	七九	三,三七九	一,〇〇〇
昭和三年	八四七	七一五,三三八	六五	二,五四四	九二二
昭和二年	八二二	六九二,四一三	六一	二,二二〇	八七五
大正十四年	六七〇	五八四,三九一	五九	三,二四四	七二九
大正十三年	四〇八	三三〇,〇〇〇	三四	一,一〇九	四四二
大正十二年	四九六	三三四,八九四	二八	一,三三七	四七〇
大正十一年	三九五	二二七,六〇〇	四六	二,一四八	四四一
					二二九,七四八

貨物

貿易貨物噸數二年比較表

種別	昭和六年		昭和五年		增減 (△)
	噸數	噸數	噸數	噸數	
輸出貨物	三〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	100
輸入貨物	一一,〇九三	四三,八〇七	四三,八〇七	四三,八〇七	三三,七一五
移出貨物	一一,〇九三	四三,八〇七	四三,八〇七	四三,八〇七	五八,〇八三
移入貨物	一五,五一一	一五,五一一	一五,五一一	一五,五一一	五〇,〇七四
運送及積戻貨物	五,三三三	三,七七七	三,七七七	三,七七七	一,五七六
計	三三,四三三	三三,四三三	三三,四三三	三三,四三三	三三,〇〇〇

輸移出入貨物噸數十年對照表 (噸)

年次	輸出		輸入		合計
	噸數	噸數	噸數	噸數	
昭和六年	三〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	三三,〇〇〇
昭和五年	一一,〇九三	四三,八〇七	四三,八〇七	四三,八〇七	三三,〇〇〇
昭和四年	一一,〇九三	四三,八〇七	四三,八〇七	四三,八〇七	三三,〇〇〇
昭和三年	一一,〇九三	四三,八〇七	四三,八〇七	四三,八〇七	三三,〇〇〇
昭和二年	一一,〇九三	四三,八〇七	四三,八〇七	四三,八〇七	三三,〇〇〇
昭和元年	一一,〇九三	四三,八〇七	四三,八〇七	四三,八〇七	三三,〇〇〇
合計	三〇〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	三三,〇〇〇

第十二 管内各地貿易關係諸計表

第十二管内各地貿易關係諸計表

年次	輸移入	輸移出	合計	出超又入超(△)
大正十四年	二二六、二二三	八九、五〇八	三一五、七三一	
同十三年	八四、一六七	六八、八〇三	一五三、九六九	
同十二年	一〇五、〇三九	六三、〇七三	一六七、一〇一	
同十一年	六五、五六四	五七、七五六	一二三、〇〇〇	

大邱 貿易 貨物貿易額二年比較表 (圓)

種別	昭和六年		昭和五年		增減(△)
	輸移入	輸移出	合計	出超又入超(△)	
移入	一、九四一、八三六	二、五七八、六三三	四、五二〇、四六九	△	六三六、七八六
移出	一、〇三三、七一一	三、三三、八七六	四、三七二、五八七	△	二一〇、一六四
合計	二、九七五、五六七	五、九一四、三四五	八、八八九、九二二	△	一、一四九
移入	二、〇四三、五〇八	二、九〇三、四九八	四、九四七、〇〇六	△	八五八、九六五
移出	二、〇七五、〇九一	三、九三四、〇五六	六、〇〇九、一四七	△	八五八、九六五
合計	四、一一八、五九九	六、八四七、五六三	一〇、九六六、一六二	△	八五八、九六五
移入	二、〇一六、〇〇五	二、八七〇、九四〇	四、八八六、九四五	△	八五八、九六五

貨物貿易額十年對照表 (圓)

年次	輸移入	輸移出	合計	出超又入超(△)
昭和六年	二、〇四五、五四八	二、〇七五、〇九一	四、一三〇、六三九	△
同五年	二、九〇三、四九八	二、九三四、〇五六	五、八三七、五五四	△
同四年	三、八五七、四四二	三、九三三、一四一	七、七九〇、五八三	△
同三年	四、五六九、五一九	四、六六四、九七〇	九、二三三、四八九	△
同二年	五、三六三、七三七	五、四七〇、三七五	一〇、八三四、一〇八	△
同元年	五、一九七、六五一	五、二九八、一六八	一〇、四九五、七八三	△
大正十四年	五、四九一、七四九	五、六七八、一六六	一〇、一七〇、九一五	△
同十三年	五、一三三、四八一	五、二九〇、二九九	一〇、四二三、七二〇	△
同十二年	四、七七四、八五七	五、〇七六、五九三	九、八五一、四五〇	△
同十一年	八、三八一、九九五	一四、一五四、六五八	二二、〇三六、六五三	△

輸出主要品二年比較表

品名	昭和六年		昭和五年		增減(△)	昭和六年	昭和五年	增減(△)
	單位	數量	單位	數量				
布帛及製品	位	數	位	數		四〇六	九八三	五七六

第十二管内各地貿易關係諸計表

第十二 管内各地貿易關係諸計表

品名	昭和六年		昭和五年		增減(△)	昭和六年		昭和五年		增減(△)
	位	數	位	數		位	價	位	價	
朝鮮紙		四、七七〇		一三、六五〇	△	三、六〇〇		六、五〇六	△	二、八七六
其他ノ諸品						七、一一三		四、五九五	△	二、五二七
(再輸出品)						二七五		二、五〇四	△	二、二二九
故(再輸出品)計		二、七五〇		九、四四七	△	六、四九七		一四、五七	△	三、一六四

二九〇

輸入主要品二年比較表

品名	昭和六年		昭和五年		增減(△)	昭和六年		昭和五年		增減(△)
	位	數	位	數		位	價	位	價	
粟		九、八六六		三七、八九九	△	二九、八〇六		二〇六、五六四	△	一七六、七五八
蕎麥		四、七五		六〇七	△	一、五九九		二、三八九	△	八二〇
小豆		二四八		三、〇三七	△	六七九		一五、三六三	△	一四、六八四
綠豆		二八一		四八八	△	一、二〇八		三、〇〇三	△	一、七九五
胡麻子		四、三〇五		二、五七七	△	一、三二七		二、三三三	△	七三三
酒精及酒類		八、四五四		一一、八二六	△	三、三三八		三三	△	三、二〇五
綿織物		一一、一九八		一〇五	△	七、八〇〇		三三	△	七、五六八
支那麻布		三六、四三五		四六四	△	二、五九三		二、五九三	△	九〇
毛織物		二、七二三		二、四〇四	△	六八八		一、〇〇一	△	三、四四
絹織物		三六		一八	△	三、二五		二、五七五	△	一八、四四〇
金屬及同製品										

品名	昭和六年		昭和五年		增減(△)	昭和六年		昭和五年		增減(△)
	位	數	位	數		位	價	位	價	
豆		一、〇一三				五、三三六				五、三三六
其他ノ諸品		二九三				八、一三三		一、〇五七	△	三、八三
小包郵便物						三、一一三		一、八、三六一	△	一〇、一九八
再輸入品						一、二二二		三、七四六	△	二、五二七
計						一〇、七一一		一〇、七一一	△	三、〇一〇

移出主要品二年比較表

品名	昭和六年		昭和五年		增減(△)	昭和六年		昭和五年		增減(△)
	位	數	位	數		位	價	位	價	
麻織物		三、二五五		一、一五五	△	九七六		七、七五	△	一〇一
布帛及同製品						一、五五三		三、八九九	△	二、三〇七
衣類及同附屬品						一、五五三		三、八九九	△	二、三〇七
其他ノ諸品						一、二〇		〇、八一三	△	一、〇七三
計						一、二〇		一、二〇	△	一、〇七三

移入主要品二年比較表

品名	昭和六年		昭和五年		增減(△)	昭和六年		昭和五年		增減(△)
	位	數	位	數		位	價	位	價	
酒		九、五二二		一三、四五五	△	八、九三五		一四、三四七	△	五、四一五
計										

第十二 管内各地貿易關係諸計表

二九一





第十二 管内各地貿易關係計表

昭 和	同 四 年	同 三 年	同 二 年	大 正 十 四 年	同 十 三 年	同 十 二 年	同 十 一 年
二三五	三五八	三三二	四九三	六一四	五、五三八	九九七	七、九三四
七、二七八	一、四九二	一三、九三三	二五、〇〇九	一八、六六七	一七、二六七	三二、七三四	五〇、六四七
七、五〇三	一、八三〇	一四、三六六	二五、五〇〇	一九、二八一	三三、七九三	五八、五八一	八三、一八〇

二九四

馬山貿易

貨物貿易額二年比較表

(圓)

種 別	昭 和 六 年		昭 和 五 年		增 減 (△)
	入	出	入	出	
移 出	一、九二五	六、八四五、二七	九、九六三	三、九四四、三六八	△
移 入	二、五四〇、一〇一	三、八四七、〇〇三	三、二四五、六九一	三、九五四、三三二	△
合 計	四、四六五、二二六	一〇、六九二、二七四	一三、二一九、三八二	七、八八八、七三六	△

貨物貿易額十年對照表

(圓)

移 入	移 出		合 計	出 超 又 入 超 (△)
	入	出		
二、五四〇、一〇一	六、八四七、〇五三	九、三八七、一五四	四、三〇四、四四六	七〇五、四八八
二、五四二、六〇六	三、九五四、三三一	七、三〇九、一八〇	五九九、四八三	△
九、三六九、六五八	六、二二二、三五八	一、一四〇、四八九	一、三二四、三三三	二、〇〇〇、〇〇〇
四、三〇四、四四六	七、八二一、八四六	一、六八一、六〇〇	三、九六二、〇九一	三、七〇四、九六四

年 次	輸 移 出	輸 移 入	合 計	出 超 又 入 超 (△)
昭 和 六 年	六、八四七、〇五三	二、五四二、六〇六	九、三八七、一五四	四、三〇四、四四六
同 五 年	三、九五四、三三一	三、三五四、八四九	七、三〇九、一八〇	五九九、四八三
同 四 年	六、二二二、三五八	四、八八九、一三一	一、一四〇、四八九	一、三二四、三三三
同 三 年	七、八二一、八四六	三、八五九、七五五	一、六八一、六〇〇	三、九六二、〇九一
同 二 年	五、四三七、〇一九	三、三三八、一五七	八、七八五、二七六	二、一八八、八六三
同 元 年	四、七四五、〇五四	三、〇四八、九五〇	七、七九四、〇〇四	一、六九三、一〇四
大 正 十 四 年	五、九七六、七四五	三、一七三、二六六	九、一四九、九六一	二、八〇三、五三九
同 十 三 年	五、三三三、二九四	三、三三三、八四三	八、六六七、一三七	二、一〇九、四五一
同 十 二 年	一、七七三、三三一	二、〇一八、九八三	三、七九一、二一四	二、四六六、七五三
同 十 一 年	三、七五四、二九八	二、二七六、六四九	六、〇二〇、九四七	一、四七七、六四九

第十二 管内各地貿易關係計表

二九五

輸出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
乾魚	斤	三、九〇〇	五〇六	△	一、〇八三	二〇六	△
清酒	升	八六五	六、一九九	△	六三三	五、四九九	△
牛皮	斤		七、五一九	△	三〇九	四、〇〇〇	△
其他諸品					一、九二五	九、九六三	△
計							
外國米	百斤		一五、九二二	△		一〇五、九一〇	△
其他諸品					二、〇七	二、〇九	△
小包郵便物					七、〇一	一、一九	△
計					二、〇四	一〇、一八	△

移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
支米	石	一五、四、八七	八三、八六	△	二、四六三、五八	一、八三三、七四七	△
精米	同	一九、五〇九	三三、五三	△	三、二五九、四九	七、五三三、三〇	△
碎米	同	三三	一〇	△	二、五四三	三〇	△
其他ノ米及類	同	七三〇	八三	△	六、六七	一〇、四四	△
大豆	同	一、〇〇〇	三、一〇六	△	一〇、三〇	二五、五七七	△
棉子	百斤	九、七七	三三、六三六	△	二二、一〇一	九三、八五三	△
牛皮	斤	五〇〇、八六三	三五九、八六九	△	一、五〇四、〇〇	一、五二二、八五一	△
綿	百斤	八、四三	一六、二二	△	二六九、一八一	六六三、五〇一	△
布帛及同製品	百斤				三三、一八六	四七、一九	△
金	百斤				三六七、三三〇	二六三、六九九	△
時計學術器械砲	百斤	七三、四七六	五五、八四〇	△	一八三、〇〇九	二二、四七七	△
船舶諸機械	百斤				一七、一六九	六、三〇五	△
米糠肥料	斤百	二五、五三三	七、九七八	△	五八、七九八	七、〇七三	△
其他ノ諸品					六、八四五、一三七	三、九四四、三六八	△
計							

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價		增減(圓)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
外國米	百斤	1,510	3,275	△	1,280	35,090	△
其他ノ米及穀	同	1,346,644	1,715	△	98,855	24,543	△
小麥	同	906,768	944,27	△	82,000	165,455	△
砂糖	同	2,700,000	4,833,252	△	38,788	106,333	△
糖蜜	同	2,135,935	1,258,140	△	30,258	27,779	△
生菓	同	18,378	11,778	△	65,107	47,718	△
安全燐寸	百打	960	857	△	29,175	28,008	△
(小) 燐寸	同	70,607	55,638	△	11,372	11,123	△
綿及打綿	百斤	263,638	171,749	△	29,237	27,464	△
綿フランネル	方碼	190,453	346,130	△	28,559	48,344	△
生細布	同	75,962	50,583	△	16,605	13,103	△
晒金巾及晒細布	同	130,870	138,140	△	27,804	38,731	△
太綾布	同	23,621	16,510	△	28,538	28,438	△
綿襦子	同	48,071	45,553	△	10,927	10,927	△
羅紗及セルヂス	同	48,071	45,553	△	10,927	10,927	△

品名	單位	數量		增減(△)	價		增減(圓)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
毛モスリン	同	48,071	45,553	△	26,982	29,982	△
羽二重	同	9,079	8,555	△	13,177	12,169	△
縮緬	同	14,593	6,450	△	34,000	21,563	△
銘仙	同	2,068	6,440	△	24,324	21,607	△
人造絹布	同	92,275	54,646	△	27,987	55,141	△
純絹人造絹交織布	同	34,118	1,093	△	18,436	23,433	△
肌衣	噸	25,558	2,076	△	99,515	36,431	△
石炭	噸	11,563	14,109	△	14,597	36,146	△
セメント	百斤	25,558	2,076	△	237,829	263,009	△
陶磁器及其他ノ粘土製品	同	25,558	2,076	△	14,597	36,146	△
硝子及同製品	同	25,558	2,076	△	29,727	71,331	△
電鍍板	斤	25,558	2,076	△	25,623	31,982	△
原板	立方尺	74,972	3,738	△	27,794	34,150	△
硫安肥料	百斤	27,104	14,764	△	25,900	27,396	△
其他ノ肥料	同	29,252	3,066	△	12,367	15,814	△
其他ノ諸品	同	29,252	3,066	△	14,293	29,581	△
小包郵便物	同	29,252	3,066	△	12,367	15,814	△
(織物ヲ含マス) 計	同	29,252	3,066	△	110,088	114,444	△

船 舶  
入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

年次	汽 船		帆 船		計
	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數	
昭和六年	五九	二二二	五八	一七九,九四五	一五二,一七四
昭和五年	五〇	二九五	七五	一三六,六二四	九七,五三三
增減(△)	九	八六	一七	一四三,三三一	五四,六四一
同四年	三三	一七四,四三二	二八	一八八,五三三	一六二,九六六
同五年	三三	一五三,一七四	二九	一九七,五九九	一四一,五九九
昭和六年	三九	一七七,九四五	三七	一三三,六二四	一八一,五九九
計	三三	一七四,四三二	二八	一八八,五三三	一六二,九六六

入港貿易船舶隻數及噸數五年對照表

同二年	同三年
一四二	一八三
八六,三八六	一三五,二二四
二七六	二八四
八,九九七	九,三三三
四一七	四六七
九五,二八三	一三四,五六七

鎮 海  
貿 易  
貨物貿易額二年比較表 (圓)

種 別	昭 和 六 年		昭 和 五 年		增 減 (△)
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	
移 入	一六七	一四,七五七	一四三	一三,七七一	△
移 出	二二七,八八三	一四,七五七	二六三,六八三	一三,七七一	△
合 計	二二八,〇五〇	二九,五一四	二七六,八三三	二七,四八八	△
輸 移 入 超 過 計	二二八,〇五〇	二九,五一四	二六六,三三三	二七,四八八	△
輸 移 入 超 過 計	二二八,〇五〇	二九,五一四	二六六,三三三	二七,四八八	△

貨物貿易額十年對照表 (圓)

年次	輸移出	輸移入	合計	出超又ハ入超 (△)
昭和六年	一四、七五七	二三八、〇五〇	二五二、八〇七	△
昭和五年	二二、七〇一	二六三、八三一	二八六、五三二	△
昭和四年	四、三九八	三二四、〇七〇	三二八、四六八	△
昭和三年	八四、六五九	六六一、〇四〇	七四五、六九九	△
昭和二年	四六、一九四	二五四、九六九	三〇一、一六三	△
昭和元年	六、〇〇一	七一九、二七三	七八〇、二七三	△
大正十四年	五八、九三九	二二七、四三〇	二七六、三六九	△
大正十三年	六五、九四三	五八七、三二二	六五三、二五五	△
大正十二年	一〇九、五一四	一、〇四三、五九二	一、一五三、一〇六	△
大正十一年	四〇九、四三九	五六三、三六〇	九七二、七九九	△

輸移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		價		額 (圓)	
		昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
精米	石	六八二	七四	一一、八六九	一八、八七一	七、〇〇九	七、〇〇九

備考 輸出貨物は昭和五、六年共皆無である

輸移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		價		額 (圓)	
		昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
其他ノ諸品				二、八八八	三、八二〇	九四三	九四三
計				一四、七五七	一〇七、三三三	七、九四三	七、九四三

品名	單位	數量		價		額 (圓)	
		昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年	昭和六年	昭和五年
輕油	瓦	一九、四五〇	四、一七〇	一一、一三四	一、〇二五	一〇、〇一〇	一〇、〇一〇
絹織物	方碼	一八、四七三	一三、九七七	二二、一六	一九、三七三	二、八四四	二、八四四
石炭	噸	五、八九一	一、八六八	六、八一九	二、七〇三	三、九一三	三、九一三
原木	立方尺	三三、一三九	九、一八三	九、七九八	五、七一五	五、〇〇一	五、〇〇一
薪材	百斤	二八、五三〇	二九、八〇四	一六、二八四	一五、六二四	一、六六〇	一、六六〇
木炭	同	七、三三四	七、五三八	二八、二六八	二九、五〇九	一、二四一	一、二四一
其他ノ諸品				一六、九五七	八、二〇〇	六、五三六	六、五三六
小包郵便物				七、六七六	八、六二七	一四、五七三	一四、五七三
其他ノ諸品				三、六七六	八、六二七	一四、五七三	一四、五七三
計				三、六七六	三、六七六	三、六七六	三、六七六

船舶  
入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	昭和六年		昭和五年		增減(△)	昭和六年		昭和五年		增減(△)
	隻	噸	隻	噸		隻	噸	隻	噸	
汽船	入港	三	一三六	一	二	一〇七八	四九〇	二,〇〇九	二,〇〇九	六二八
	出港	三	一三六	一	二	一〇七八	四九〇	二,〇〇九	二,〇〇九	六二八
帆船	入港	一	一三	一	一	三〇七	二,〇〇九	二,〇〇九	二,〇〇九	九八四
	出港	一	一三	一	一	三〇七	二,〇〇九	二,〇〇九	二,〇〇九	九八四
計	二	二七二	二	二七二	二	一,〇七八	二,〇〇九	二,〇〇九	二,〇〇九	一,六二八

入港貿易船舶隻數及噸數五年對照表

年次	汽船		帆船		計	
	隻	噸	隻	噸	隻	噸
昭和六年	三	一,〇七八	一	三〇七	四	一,三八五
昭和五年	一	四九〇	一	三〇七	二	一,五三三
同四年	三	一,三七八	一	三〇七	四	一,五三三

統營

移出主要品二年比較表

品名	單位	昭和六年	昭和五年	增減(△)	昭和六年	昭和五年	增減(△)
同	同	三	一四,四六一	一〇〇	一,六六七	一,三九九	一六,一四八
同	同	一九	八,三五八	九	一,七五八	一,一五	一〇,〇一四

品名	單位	數量		價額(圓)
		昭和六年	昭和五年	
精米	石	五,四四	三〇六	八,九三三
鮮魚	斤	五,三八四,八六一	四,四七七,六〇〇	一〇八,二四〇
煮乾魚	斤	二,六三三,八七五	二,七七八,九九九	六六三,九三三
乾海苔	同	四,七五	一,二五〇	一一,〇三三
桐下駄	同	—	—	—
魚糞	百斤	四,九四八	四,八六五	一七,三五六
其他ノ諸品	計	—	—	六,八七七
計	計	—	—	一七九,〇三三

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
乾魚	斤	四三,四二四	一三四,八八七	△	八,〇三三	一八,四三三	△
燈油	瓦	二九,八〇〇	一三,七五〇	△	一三,四九九	七,六七五	△
輕油	同	七四,三六五	八八,六一〇	△	一九,七六三	二七,三〇七	△
機油	同	一六〇,九二〇	一四四,五七〇	△	九,七六六	一一,三二二	△
炭化灰	同	三三,四四五	六五,三九五	△	一五,七三九	三六,四四三	△
石炭	噸	一八,二三〇	七,三三〇	△	一七,三三〇	七,四六六	△
漁網及漁地	同	三,四五七	三,五六八	△	三六,九九七	三八,〇三八	△
薪材	立方尺	一四四,七八四	一〇七,七九五	△	四六,二二七	四六,五八五	△
薪材	百斤	一三,一三三	一五,六八〇	△	七,〇四一	一一,四五七	△
其他ノ諸品	計	—	—	—	二八,五八六	二六,三〇四	△
計	計	—	—	—	二八,五八六	三六,七〇八	△

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		增減(△)	噸數		增減(△)
	昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
汽船	二四	二二	二	一,一五二	五,九〇〇	△
帆船	—	—	—	—	—	—
計	二四	二二	二	一,一五二	五,九〇〇	△

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
入港帆船	隻	八五八	八三三	△	九,七〇〇	九,七〇〇	△
出港帆船	隻	八八二	八四三	△	一〇,八〇〇	一〇,八〇〇	△
計	計	一,七四〇	一,六七六	△	一九,五〇〇	一九,五〇〇	△

麗水 移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
玄米	石	六二,七七七	五三,三三二	△	一,〇七四,八二九	七〇五,六四七	△
精米	同	一五,八一一	一五,〇二〇	△	二,五〇〇,八一九	三,〇一三,〇五五	△
鮮魚	斤	二,三五三,三八	一,七三三,〇三五	△	三,〇〇〇,七三三	一,〇〇〇,三三三	△
海苔	同	五九,三三〇	八,一一一	△	二六,八七七	一〇,五〇三	△
生絲	同	二二,七一〇	—	△	一,〇七,八一八	—	△
海藻	同	三三九,四〇九	一八七,五三五	△	一六四,九七四	七四,七六八	△
其他ノ諸品	計	—	—	—	一,三三,三四八	一一七,〇八八	△
計	計	—	—	—	一,三三,三四八	一一七,〇八八	△

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
小麥粉	斤	300,733	237,937	△ 62,796	31,971	33,599	△ 1,628
綿織物	方碼	1,508,358	805,375	△ 702,983	301,340	338,287	△ 37,947
石炭	噸	7,667	1,376	△ 6,291	71,693	16,193	△ 55,500
セメント	百斤	5,218	60,433	△ 55,215	71,278	100,310	△ 29,032
レール	斤	384,331	8,477,173	△ 8,092,842	19,965	589,705	△ 569,740
機械類	立方尺	41,506	36,453	△ 5,053	26,336	34,255	△ 7,919
原木挽材及板	立方尺	51,471	5,054	△ 46,417	287,893	173,487	△ 114,406
鐵道枕木	百斤	18,666	29,098	△ 10,432	60,956	161,056	△ 100,100
肥料	百斤	—	—	—	903,424	506,810	△ 396,614
其他ノ諸品	計	—	—	—	1,648,655	1,854,644	△ 205,989

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		噸數
	昭和六年	昭和五年	
汽船	543	158	384
帆船	—	—	—
合計	543	158	384

城山浦及濟州 移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
鮮貝	斤	75,038	133,498	△ 58,460	22,100	22,877	△ 777
椎茸	同	36,050	53,250	△ 17,200	68,863	144,105	△ 75,242
罐詰	類	—	—	—	67,545	91,726	△ 24,181
牛皮	斤	7,855	29,845	△ 21,990	3,010	12,374	△ 9,364
貝類	計	—	—	—	3,350	63,856	△ 60,506
其他ノ諸品	計	—	—	—	35,011	178,054	△ 143,043
合計	計	—	—	—	356,618	580,074	△ 223,456

備考 昭和六年二月府令第四號ヲ以テ濟州島從來ノ指定港城山浦ハ濟州ニ變更サレタ



移入主要品二年比較表

品名	單位數		量		價		額(圓)	
	昭和六年	昭和五年	增減(△)	量	昭和六年	昭和五年	增減(△)	
小麥粉	八七〇、一三二	九七三、五二七	△	一〇三、三八六	六三、八七八	八三、七〇〇	△	一九、八九三
砂糖	一〇五、〇六〇	七三、六三三		二七、三二八	九、七〇四	八、九四九		七五五
麥酒	一八、七六一	一八、三三五		五五六	六、二五八	七、三〇〇	△	九六三
燒酎	四、六五〇	一四、三三五	△	九、五八五	一、三二八	四、三三〇	△	三、〇九三
綿織	一三、一七〇	一一、三三二		一、八四九	六、五五〇	九、九四〇	△	三、三八〇
洋紙	三九、〇〇〇	三五、二〇四	△	六、一九四	五、六七五	七、四七〇	△	一、四七三
石炭	一三五五	五五六	△	四三〇	一、六八七	六、三三三	△	四、六四六
鐵電板	三三、八四〇	五六、一七六	△	二二、三三六	五、七五七	九、七二三	△	三、九五六
機械類					四、五五八	六、七五〇	△	二、一九二
其他ノ諸品					一五八、五三七	二〇四、六六六	△	四六、一三九
計					三六三、八四三	三〇八、八二八	△	八四、九六六

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		噸數	
	昭和六年	昭和五年	增減(△)	噸數
汽船	一〇〇	二〇〇	△	八三、三九五
帆船	一四	五五	△	六、七四四
入港計	一一四	二五五	△	九〇、一三九
汽船	二〇	二〇		八二、三九五
帆船	二	四	△	六、七四四
出港計	二二	二四	△	八九、一〇九
汽船	二〇	二〇		八二、三九五
帆船	二	四	△	六、七四四
計	二二	二四	△	八八、九〇九

方魚津 移出主要品二年比較表

品名	單位數		量		價		額(圓)	
	昭和六年	昭和五年	增減(△)	量	昭和六年	昭和五年	增減(△)	
鮮魚	七、四四七	五、四〇〇	△	二、〇四七	四、四一七	二、九七五	△	一、四四二
古漁網								
其他ノ諸品					九、六六七	〇〇〇、〇五	△	九、六六七
計					四、四一七	三、〇二五	△	一、三九二

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
綿綢絲	斤	二、八三五	六、四一九	△	一、四四五	四、〇三三	△
麻製繩索	同	三、三三三	二、八六三	△	六、七七五	一、五三五	△
漁網及漁網地	同	三三、〇九九	五三、三〇三	△	一八、二六三	四三、三三七	△
機械類	同				四、九一一	二、一〇三	△
薪材	百斤		一五、六五八	△	五、六六三	六、七一一	△
木製	同				五、〇一一	五、四三九	△
其他ノ諸品計	同				一七、〇五〇	三、〇三三	△
計					五七、一三七	一一三、三三三	△

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

入港	船種	隻數		增減(△)	登簿噸數		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
汽船	汽船	一四九	九二	△	一五、八八〇	二五、二四二	△
	帆船	〇	三九	△	四、四二七	二、四六三	△
帆船	汽船	〇	三九	△	四、四二七	二、四六三	△
	帆船	〇	三九	△	四、四二七	二、四六三	△

浦項 移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價		增減(△)
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年	
玄米	石	二、八、一七一	一、三、三三九	△	二、一六二、七三六	二、七三三、三三三	△
精米	同	一、八〇九	一、三三三	△	三、五五六	二、四三七	△
大豆	同	一、三、三〇七	六、七三三	△	一、三、〇九〇	七、四〇〇	△
鮮魚	斤	二、四、三三三	二、四、三三三		七、六、五二二	一、三、四、五八	△
乾魚	同	三、七、四、六八	二、七、一三三	△	六、二、八八九	五、七、一八七	△
牛皮	同	七、七、四〇〇	三、五、〇六一	△	三、〇〇三	一、一、四八五	△
乾魚肥料	百斤	三、四、四九五	二、七、七三三	△	一、五、〇三三	一、五、三、七六	△
魚精肥料	同	四、二、〇四四	四、八、四四	△	一、七、一、一三五	七、〇、四九	△
計							

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		昭和六年	昭和五年	金額	
		昭和六年	昭和五年			昭和六年	昭和五年
其他ノ諸品計				53,823	67,355	2,566,131	1,207,171
小麥	斤	3,711,395	2,153,214	245,010	293,355	89,356	16,454
砂糖	斤	798,732	787,973	72,903	89,356	16,908	19,012
安全燐寸	百打	101,345	42,612	35,930	17,500	17,500	2,697
麥全燐寸	百打	3,570	4,040	14,803	17,500	17,500	2,697
麻製繩索	斤	40,250	75,511	10,460	33,663	10,460	33,663
漁網及漁網地	噸	57,371	53,820	3,551	3,551	63,887	31,281
石炭	噸	588	806	218	10,676	10,676	4,294
鐵條及竿	斤	547,026	353,936	300,183	19,679	10,503	9,613
鐵電板	同	281,647	345,891	37,985	37,985	48,444	33,809
鐵板	同	555,143	60,550	49,993	28,653	34,055	12,846
其他ノ諸品	同			33,949	33,949	16,041	2,439
其他ノ諸品	同			17,330	7,463	7,463	21,913
其他ノ諸品	同			10,509	10,509	66,394	66,394
其他ノ諸品	同			9,867	17,330	31,000	21,913
其他ノ諸品	同			7,463	7,463	31,087	27,043
其他ノ諸品	同			40,104	107,180	107,180	133,677

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	昭和六年		昭和五年		昭和六年	昭和五年
	隻	噸	隻	噸		
汽船	224	14,661	146	13,696	173,561	133,696
帆船	4	1,100	3	988	1,100	1,100
汽船	260	17,761	176	13,696	177,661	133,696
帆船	4	1,100	3	988	1,100	1,100
出港計	264	15,761	149	14,684	174,661	134,684
入港計	260	17,761	176	13,696	177,661	133,696
汽船	224	14,661	146	13,696	173,561	133,696
帆船	4	1,100	3	988	1,100	1,100
汽船	260	17,761	176	13,696	177,661	133,696
帆船	4	1,100	3	988	1,100	1,100
出港計	264	15,761	149	14,684	174,661	134,684
入港計	260	17,761	176	13,696	177,661	133,696

道洞 移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		昭和六年	昭和五年	金額	
		昭和六年	昭和五年			昭和六年	昭和五年
大豆	石	700	71	6,669	6,669	1,082	5,396

品名	單位	數量		增減(△)	價額	
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年
鮮魚	斤	200,000	138,000	△	5,750	1,120
乾魚	斤	240,700	297,800	△	78,670	108,540
乾海苔	斤	3,700	1,300	△	3,910	1,370
家蠶繭	同	12,600	15,000	△	12,840	38,970
其他ノ諸品	同				5,540	17,470
計					125,180	161,150

移入主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額	
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年
米	百斤	143	126	△	1,291	1,435
燈油	瓦	4,590	3,915	△	2,914	2,680
輕油	同	6,780	4,580	△	2,291	1,810
繩索	斤	19,700	30,900	△	753	1,570
原木	立方尺	1,827	7,333	△	1,291	3,115
其他ノ諸品	同				9,726	12,775
計					18,166	100,311

入出港貿易船舶隻數及噸數二年比較表

船種	隻數		增減(△)	噸數	
	昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年
汽船	14	15	△	2,636	2,908
帆船	14	15	△	2,636	2,908
計	28	30	△	5,272	5,816

蔚山飛行場

移出主要品二年比較表

品名	單位	數量		增減(△)	價額	
		昭和六年	昭和五年		昭和六年	昭和五年
雜品	同				11,700	11,700
計					11,700	11,700



第十二 管内各地貿易關係諸計表

計	鶴	巨	大	芑	亭	蔚	寧	竹	三
里	濟	市	串	里	山	海	里	浦	浦
二、三九四、五三六	一、六五〇	一、三〇〇	九〇、九七四	一、〇〇〇	六九〇	一、二七〇	一、二七〇	一、二七〇	一、二七〇
一一三、四三三			一〇〇、二一〇						一八、四四六
二、五〇〇、九六六	一、六五〇	一、三〇〇	一〇一、八八四	一、〇〇〇	六九〇	一、二七〇	一、二七〇	一、二七〇	一六三、八一〇
二、五一九、四三七	一、七五〇		四三、九九四			一、〇一〇			二九、八三五
二、七〇〇、一七五			一三、八〇三	一、五五		一、三三三			七、一六八
二、七九〇、九八三	一、七五〇		五七、七九六	一、五三		一、三二七			二九、一〇三
									一五八、九二七
									七、一六八

三二〇

昭和七年三月二十五日印刷  
 昭和七年三月二十五日發行

釜山稅關

釜山府富平町一丁目四二

印刷所 上田印刷所

14.2  
88

即係于本月三十一日  
即係于本月三十一日

釜山錄關

甲  
田  
甲  
田  
田  
田

終

